

“みんなが住みたい、住み続けたいと実感できるまちづくり”

商工業が賑わうために欠かせない  
安心・安全の特効薬!!

## 野洲市商工業振興指針

「さあ、走り出せ!! 賑わいのまちへ!!」



平成24年4月

野 洲 市



# 《 目 次 》

はじめに

「さあ、走り出せ！！賑わいのまちへ！！」…………… P 1

## 野洲市商工業振興指針の本旨

1. 野洲市商工業振興指針策定の背景…………… P 2
  - ①今、なぜ商工業振興指針が必要なのか？
  - ②目指すべきゴール
2. 野洲市の現状（SWOT分析の結果から）…………… P 3
3. 野洲市の現状に対する課題…………… P 4
4. 商工業の賑わいのための役割分担…………… P 6
  - ①. 企業・事業所・商業者・商工業団体・観光団体
  - ②. 市民（市民団体）
  - ③. 行政
5. 具体的に行う事業・施策…………… P 7
6. 野洲市の将来像（イメージ図）…………… P 2 3
7. 将来像を実現するための取り組み…………… P 2 5
  - 理想像を実現するために
  - 7-1. 将来像の実現に向けて…………… P 2 5
    - （1）概要および実施目標等
    - （2）具体的な取り組み内容
  - 7-2. 商工業者からの意見の反映に向けて…………… P 2 5
    - （1）概要および実施目標等
    - （2）具体的な取り組み内容
  - 7-3. ハード事業の具体案（将来展望）…………… P 2 7
8. 商工業者のビジネスモデル事例…………… P 2 8

## 指針策定の経過

9. 指針策定までの議論経緯	…………… P 3 8
9-1. 指針策定の背景	…………… P 3 8
9-2. 指針策定のキーワード	…………… P 4 7
9-3. 意識調査による「やす」のイメージ（調査結果）	…………… P 4 7
9-3-1. 商工業意識調査報告（一般市民対象・ヒアリング調査）	
9-3-2. 商工業意識調査報告（野洲市役所職員全員対象）	
9-3-3. 意識調査による「やす」のイメージ（調査結果）	
9-3-4. 委員会委員へのヒアリング調査	
9-3-5. 委員会委員へのヒアリング調査結果集約	
9-4. 野洲市の現状（SWOT分析）	…………… P 6 2
9-4-1. 野洲市の現状把握	
(1) 分野別SWOT分析	
(2) SWOT分析結果からみた現状	
9-4-2. キャッチフレーズ化による野洲のイメージ戦略	
9-4-3. SWOT分析結果をキーワード化	
9-4-4. 応用SWOT分析の手法（図1）	
9-4-5. 応用SWOTによる細分析	
9-5. 野洲市の商工業振興対策や具体策（抽出結果）	…………… P 7 2
(1) 全体的な課題と解決策	
(2) 効果のある具体策の抽出	
(3) ゾーン別課題解決のための具体策	
ワークショップ検討結果	
(4) 各ゾーン分野別の具体策の抽出（絞り込み作業）	
各ゾーン分野別具体策の抽出（絞り込み）作業 集計結果	
<ア>駅前周辺	
<イ>三上山（近江富士）周辺	
<ウ>びわ湖（マイアミ浜）周辺	
<エ>農産物生産地域周辺	
<オ>市内全域	
9-6. 野洲市の商工業振興対策や具体策	…………… P 8 2

## 参考資料・詳細報告

10. 参考資料 各種資料	..... P 8 3
1. 設置要綱	..... P 8 3
2. 委員会・作業会 委員名簿	..... P 8 4
3. 委員会・作業会 協議経過表	..... P 8 6
4. 委員会 議事録（概要）	..... P 8 7
5. 委員会の風景（第1回～第6回） 作業会の風景	..... P 8 8

# はじめに

「さあ、走り出せ！！賑わいのまちへ！！」

野洲市は、平成16年10月に、旧中主町と旧野洲町が合併した、人口約5万人のまちです。

JR東海道線(琵琶湖線・京都線)の連絡により、京阪神からのアクセスも良好でありながら、近江富士と呼ばれる三上山を拠点とした山間部と、日本一大きなびわ湖をもつ自然豊かなまちでもあります。

また、希望が丘文化公園、近江富士花緑公園を代表とする自然公園や、ピワコマイアミランド、マイアミ浜オートキャンプ場等のレジャー施設が立地しており多くの方が観光に来られています。

さらには、日本最大の銅鐸が出土し、「銅鐸のまち」として知られ、他にも古墳群や神社仏閣など豊富な歴史・文化遺産に恵まれたまちでもあります。

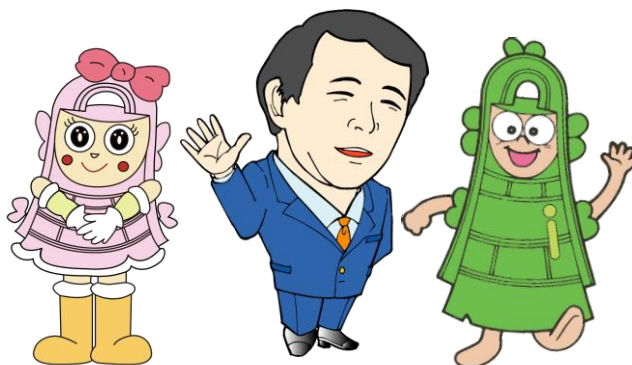
さて、欧州の政府債務危機を発端に、我が国全体の景気にも影響がでているなか、その煽りを受け、本市の商工業者に重くのしかかっています。

このような依然として厳しい状態を打開し、まちの商工業者が元気になるよう「野洲市商工業振興指針策定委員会」からの提言をもとに「野洲市商工業振興指針」を策定しました。

この指針は、課題解決に向けた、野洲の商工業の活性化とまちの賑わいづくりへの特効薬となる具体策を盛り込んだ、即効性のあるものになっております。

まちが「もっと元気で、にぎわいのあるまち」になるよう、商工業者、市民、行政が一体となり、「自由、楽しく、安全、安心」のまちづくりに、みなさんと共に歩んでいきたいと思っております。

平成24年4月 野洲市長 山 仲 善 彰



野洲市商工会イメージキャラクター  
やよいちゃん

野洲市観光PRキャラクター  
ドウタクくん

# 1. 野洲市商工業振興指針策定の背景

## ①. 今、なぜ商工業振興指針が必要なのか？

本市においては、現在に至るまで、地域の特性や課題を把握し、商工業活性化の方向性を示す「商工業振興指針」が存在していなかった。

そのため、商工業振興のために「目指すべきゴール」が抽象的になってしまうだけでなく、商工業の活性化が商工業者の責任となっている。

今、求められている課題は、「目指すべきゴール」、「取り組むべき具体的な事業」を明確にし、商工業者、行政、市民団体等が、協働連携しながら、共に汗をかきながら、野洲の商工業の活性化と賑わいづくりを効率的に進めていくことである。

については、本市における商工業の振興に関する指針の策定からスタートし、走り出すことが早急に必要である。

そこで、平成24年度以降5年間の実施期間を想定した実施計画を盛り込んだ、「野洲市商工業振興指針」を策定した。なお、変化する社会状況に対応するため、5年毎に、この指針の見直しを行う。



## ②. 目指すべきゴール

この指針の策定にあたっては、着地点や将来的展望を見据えた内容でなければならないことから、「目指すべきゴール」が必要不可欠となる。

よって、次に掲げたキーワードを念頭におきながら検討する必要がある。

### ～野洲の商工業の活性化とまちの賑わいづくり～

(指針策定の留意点)

☆重要性・必要性・緊急性など優先順位を考慮した具体的事業を抽出すること

☆おおむね3年～5年で実行できる課題(具体的事業)を示すこと

※指針については、平成24年度以降5年毎で見直し

## 2. 野洲市の現状（SWOT分析の結果から）

※参照：P 62 9-4 野洲市の現状（SWOT分析）

まず、本市の現状を明らかにするため、4つの特色に分類した。

ここで大切なことは、「背伸びせず！ 隠さず！ 良いことも悪いことも素直に認める！」ことから始め、弱点を認め、原点に戻って磨きをかけることが重要になる。

市内環境	市外環境
<p><b>(S)野洲市の強み (Strength)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「安心、安全の地元農水産物」が食べられる</li> <li>●「自然」「眺望」「歴史」「利便性」がある</li> <li>●「住みやすいまち」である</li> <li>●「子育てのしやすいまち」である</li> </ul>	<p><b>(O)市外環境の有利な機会 (Opportunity)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「利便性」があり、多くの来訪者・通勤者が来る</li> <li>●人口が増えており、「住みたいまち」としての開発が進んでいる</li> <li>●大きなイベントを開催できる大型施設がある</li> <li>●企業の社会貢献意識が高い</li> </ul>
<p><b>(W)野洲市の弱み (Weakness)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●企業・商工業者・市民同士の交流の機会が少ない</li> <li>●来訪者に対する「おもてなし体制」が弱い</li> <li>●観光・物産資源などの情報を発信する力が弱い</li> </ul>	<p><b>(T)市外環境の不利な脅威 (Threat)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●周辺市町村へ、消費が流出している</li> <li>●周辺市町村との連携が不足している</li> <li>●魅力的な大型集客施設がない</li> </ul>

**これが「野洲市の素顔」であり、現状を素直に受け止める!!  
「強み」を活かし、「弱み」を克服することで課題解決に繋げる!!**



### 3. 野洲市の現状に対する課題

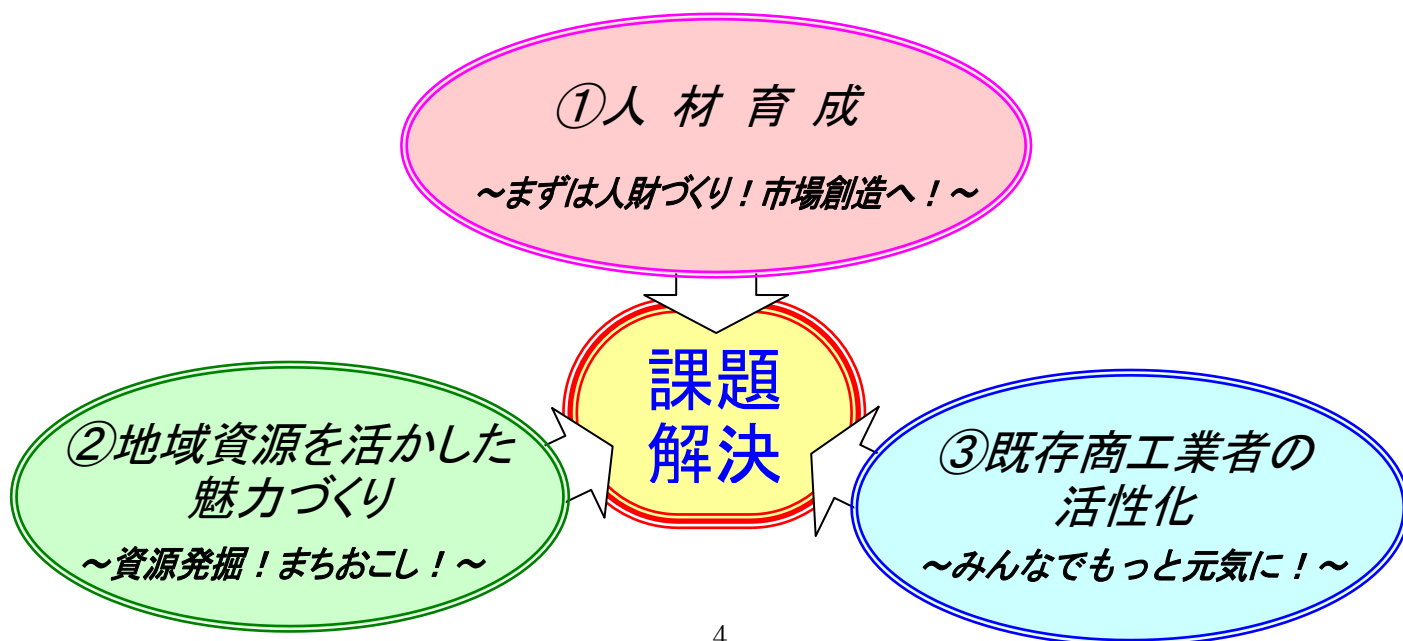
※参照：P47 9-3「やす」のイメージ（意識調査結果）

P62 9-4野洲市の現状（SWOT分析）

本市の素顔を認めた上で、本市の現状把握を行った結果、抽出できた課題は、以下のとおりである。

- (1) 地元企業・商店が製品やノウハウ等をPRできる機会が少ない。
- (2) 市内の企業・事業所間でのマッチング（仲介・相互連携）の機会が少ない。
- (3) 市民活動がまちの賑わいづくりにつながっているものが少ない。
- (4) 市民や商工業者が発想し、参加意欲が高まるイベントが少ない。
- (5) 琵琶湖岸や三上山周辺に通年誘客できる機能的な仕組みが弱い。
- (6) 来訪者への市民のおもてなし意識と受入体制（駐車場・看板・景観整備等）が弱い。
- (7) 市内の観光や物産資源を知るための情報発信力が弱い。
- (8) 市内の公共交通が不便である。
- (9) 企業の負担を軽減する措置がない。
- (10) 若者が集える店舗が少ない。
- (11) 主要幹線道路の渋滞が激しい。
- (12) 市外の大型店や専門店に行く人が多い。
- (13) 地元産の農水産物を販売する魅力的な大型販売施設が少ないため、買物客が流出している。
- (14) インターネット利用などにより消費が流出している。
- (15) 近隣および他市の資源等を有利に活用するための広域連携ができていない。

#### 現状課題を解決するための関係図



## ①人 材 育 成

.....まずは人材づくり！市場創造へ！

### (1)事業承継と後継者づくり

市内企業育成のため、経営ノウハウ等無形資産の承継をスムーズにする。また、次代を担う後継者づくりについては、経営者が行う社内教育と広く経済知識を習得する社外教育を適正に組み合わせ、継続企業として成長させる研修システムづくりを図る。

### (2)産学官連携による技術や人材育成支援づくり

産学官で連携を強め、新技術、新製品の開発を進める。また、市内企業が求める人材を確保するため、学生の地域企業への理解を深める機会を増やし、企業の採用活動を支援する、就職体験事業を推進する。

### (3)市民主役のイベントづくり

新しい産業の担い手となる起業家の協同化と市内企業による新分野への進出、起業家の新規事業立ち上げ支援として、起業に必要な助成援助を検討する。

### (4)郷土愛育成の仕組みづくり

伝統を守り、受け継がれてきた産業等の魅力や、それを生かした地域一体感の心を、次世代を担う子ども達に伝える仕組みづくりを構築する。

### (5)人財<sup>じんざい</sup>バンクの設立

高度な技能等を有する企業OBの方々に、「人財バンク」登録制度などを設け、技能継承、指導者不足の中小企業等で技術指導を実施する。

## ②地域資源を活かした魅力づくり

.....資源発掘！まちおこし！

### (1)農商工連携による「やすブランド」の創造

様々な市内企業が連携し、それぞれの企業特性を生かした地域独自の商品を開発できるよう支援し、農水産業の一次産業でとどまらず、加工販売を行う六次産業による新製品の開発、提供を行う。

### (2)三上山（近江富士）周辺とびわ湖（マイアミ浜）周辺の地域資源を繋ぐ仕組みづくり

恵まれた自然条件を有効に活かすためにも、三上山（近江富士）周辺とびわ湖（マイアミ浜）周辺の地域資源を繋ぐ仕組みづくりを行う。

### (3)環境体験や農業体験ができる仕組みづくりと地産地消の伝統食の普及

そのままの自然を活かしながら、環境体験や自然体験、農業体験ができる仕組みをつくり、農作物や湖魚などの地域資源を活かした、安心安全の昔ながらの伝統食を普及する。

## ③既存商工業者の活性化

.....みんなでもっと元気に！

### (1)ものづくり経営交流センターや商工会の活用による、マネジメントとマーケティング力の習得・強化、制度活用の啓発・情報発信

中小企業の経営力が向上し、自社の生産性が高まるように、マネジメントとマーケティングの習得・強化、県制度をうまく活用するよう啓発・情報発信を行う。

### (2)既存商工業者同士の連携・交流、各商工業団体の組織力強化

既存商工業者同士の連携や交流を深めるためにも、商工会への加入を推進し、商工会内での企業マッチング等を行いビジネスチャンスを得る。

また、市内産業による商品（製品）紹介コーナーを設置しビジネス拡大に努める。

### (3)産業観光ツアーの推進による商工業者の認知度アップ

点在する商工業者を点から線で結ぶ仕掛け作りを行う。製造過程や工程を見学・体験することで、ものへのこだわりを知ってもらう。

## 4. 商工業の賑わいのための役割分担

商工業の賑わいづくりを円滑に遂行するためには、各立場での役割分担が不可欠であり、次のように分類することで、それぞれの立場での責任が明確化できる。

### ①企業・事業所・商業者・商工業団体・観光団体

#### ●企業・事業所・商業者

- ・経済社会活動の中心的な担い手（積極的に牽引）
- ・雇用の創出、地域コミュニティの創造など、地域社会の構成員（地域貢献）

#### ●商工業団体

- ・県や市などの行政と連携を密にしながら、経営指導員などが金融・税務・労務・取引等に関する相談指導（アドバイザー）
- ・環境美化、社会奉仕、イベントへの参加（地域発展の担い手）

#### ●観光団体

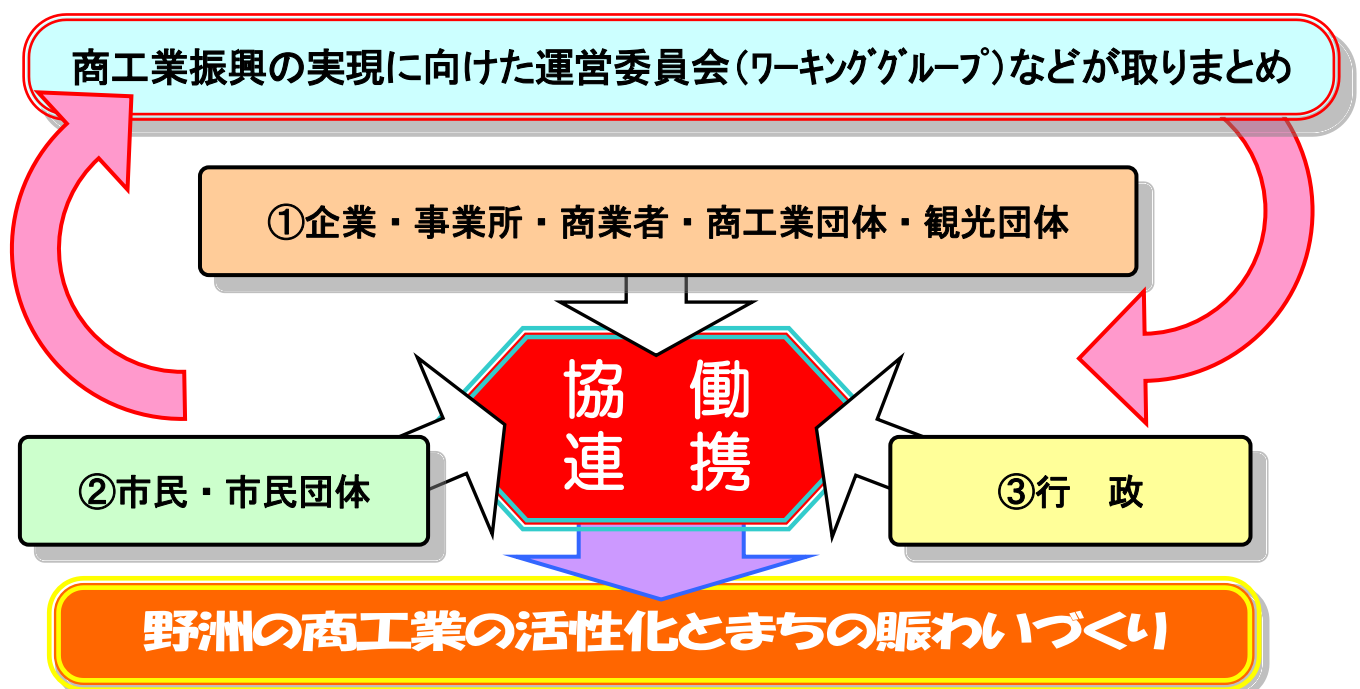
- ・野洲市観光物産協会を中心に、各NPO法人や市民・ボランティア団体、近隣市町等と協力しながら、イベントの企画・開催・協賛（仕掛けづくり）
- ・HP、マスコミを利用した情報発信や観光案内（観光窓口）
- ・来訪者に「感動」を与え、多くの「リピーター」を生み出す（おもてなし）

### ②市民（市民団体）

- ・「おもてなしのこころ」でお出迎えする仕組みづくり（ボランティア精神）
- ・市民が、「このまちが一番好き」という気持ちを育てる（郷土愛）

### ③行政

- ・地域に関係するすべての団体などとの連携の推進（協働連携）
- ・情報提供、相談サービス、場所提供などの各種支援事業や財政支援（予算確保）



## 5. 具体的に行う事業・施策

※参照：P72 9-5. 野洲市の商工業振興対策や具体策（抽出結果）

### （1）効果のある具体策の抽出

商工業の振興は、“野洲の商工業の活性化とまちの賑わいづくり”のために、5年以内で実現できるための、効果ある実施計画を示さなければならない。

重要性・必要性・緊急性を考慮しながら、具体的に行う事業について抽出を行った結果、P8以降に挙げる10事業となった。

これら具体的な10事業を行う上で最も大切なことは、各主体が相互に連携して実施することである。各主体とは、本市の経済団体である野洲市商工会や工業会を含めた「①企業・事業所・商業者・商工業団体・観光団体」はもとより、「②市民（市民団体）」、「③行政」である。

まずは、各団体が組織強化をし、緊密に連携しながら、具体的な10事業を実施していくことが肝要である。

### （2）ゾーン別課題解決のための具体策

最初に、より実現性が高く、具体的な施策（事業）を抽出するために、市内の地理を5つのゾーン（駅前周辺、三上山〔近江富士〕周辺、びわ湖〔マイアミ浜〕周辺、農産物生産地域周辺、市内全域）に分けた。

大きく5つに区分することにより、地域ならではの特性を活かし、より効果的な地域資源の有効活用を行うことができる。



(3) 具体的に行う10事業(一覧)

最重要ポイント

商工業が賑わうために欠かせない  
安心・安全の特効薬!!

区分：新＝新たに実施計画する事業 既＝既事業をもとに実施計画する事業

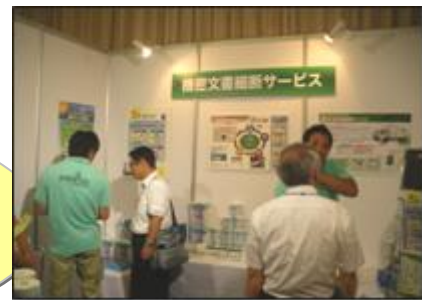
ジャンル：①産業、②生活、③文化交流、④観光、⑤環境、⑥交通

主体：①【企業・事業所・事業者・商工業団体・観光団体】、②【市民(市民団体)】、③【行政】

ゾーン	区分	事業計画	効果的なジャンル						主体		
			①産業	②生活	③文化	④観光	⑤環境	⑥交通	①企業	②市民	③行政
駅前周辺	新	①JR琵琶湖線の利便さを活用し、駅前周辺で多目的施設等を利用し、商工業者間や一般消費者等を対象にしたマッチング会を実施する。	◎			○		○	○	○	
	新	②商工業者の自社製品(商品)の常設展示の実施。	◎			○		○		○	
三上山(近江富士)・びわ湖(マイアミ浜)周辺	新	③三上山(近江富士)周辺の来訪者を、びわ湖沿いに誘導したり湖岸の来訪者を三上山周辺や中山道へ誘導したりするコースの設定。	○			◎		○	○	○	
	既	④ビワマス等を使用した伝統食「びわ湖の漁師料理」の普及や、農商工連携で湖魚を使った商品の開発や販売を行い、「食」へのこだわりと魅力を高める。	◎	○	○	◎	○	○	○	○	
	既	⑤家棟川エコ遊覧船、ビワコマイアミランド、マイアミ浜オートキャンプ場などの施設で、環境体験やマリンスポーツを体験できるようにし、にぎわいを創出する。	○		○	◎	◎		○	○	○
農産物生産地域周辺	新	⑥日帰りまたは宿泊施設を利用した農業体験をしてもらい、農産物がおいしい理由を説明したり、収穫した農産物で加工品をつくり、本市の魅力を高める。	○			○	◎	○	○	○	
市内全域	既	⑦ものづくり経営交流センターや県の制度などを活用し、経営改善をする。	◎		○			○	○	○	
	既	⑧伝統工芸や製品の製造過程が見学できるツアーを実施し、地域貢献と自社のPRをしてもらう。	◎			◎	○	○	○	○	
	新	⑨テーマを設定して、市民・学生・商工業者等の民間からイベントの手法を提案してもらい、実施・評価することで「野洲」への関心を高めてもらう。	○		○	◎		○	○	○	
	既	⑩市内で収穫された農水産物を利用してメニューを作り、飲食店で提供してもらう。	◎		○	◎		○		○	

＜ア＞駅前周辺

①JR琵琶湖線の利便さを活用し、駅前周辺で多目的施設等を利用し、商工業者間や一般消費者等を対象にしたマッチング会を実施する。



野洲でマッチング！

（具体的事業）

- ① マッチング会で重要なことは、マッチングしようとする商品や内容について、売り手と買い手の取り扱い量の規模が同格である商工業者が参加する必要であり、これを考慮したものを実施する。
- ② マッチングは、業者間でのマッチング（BtoB）だけでなく、生産者と一般消費者間を対象にした商品やサービス業務のマッチングも必要で、さらには観光分野とのマッチングによる多彩なイベントを実施しながら市民をはじめ市外のJR琵琶湖線利用者も参加しやすい内容にする。
- ③ 駅前でPRをしながら、市内の工業団地単位（三上・大篠原・乙窪など）で、各工業団地内を会場にマッチング会や商品展示会を行う。

●役割分担と実施方法

役割分担（主体）	実施方法
①企業・事業所・商業者・ 商工業団体・観光団体	○マッチング会の企画・実施 ○既存のマッチング会への出展PR
②市民・市民団体	○消費者として意欲的に参加
③行政	○財政支援

【事業実施による効果】

①既存商工業者の活性化

- 商工業者同士の交流
- 生産者と消費者の交流
- 行政と金融機関との連携
- 野洲市商工業の振興・PR
- 商工会と出展業者とのつながり

②地域資源を活かした魅力づくり

- 行政と市民・来訪者との交流
- 来訪者の呼び込み
- 来訪者への、野洲市のPR

③人材育成

- ノウハウの蓄積・提供
- ノウハウを持った人材育成

●実現のために利用できる関連制度（2011年5月現在）

実現のために利用できる関連制度		事業主体
1	新卒者就職応援プロジェクトへの参加	中小企業庁
2	合同就職説明会への参加	
3	実践型研修事業(ものづくり・太陽光発電システム設置工事)への参加	
4	サービス産業における業務改善標準整備事業(売上増につながる業務改善)に参加	
5	ドリームマッチプロジェクトへの参加	経済産業局
6	ジョブカフェへの参加	
7	技術研修事業への参加	(公財)滋賀県産業支援プラザ
8	下請取引のあっせんへの参加	
9	貿易投資ビジネス支援への参加	
10	経営力強化のための研究会への参加	
11	しが新産業創造ネットワークへの参加	G-NETしが滋賀県立男女共同参画センター
12	マザーズビズカフェへの参加	
13	チャレンジジョブ支援事業に参加	滋賀県工業技術総合センター
14	技術普及講習会への参加	滋賀県商行観光労働部
15	びわ湖環境ビジネスメッセへの参加	全国商工会連合会
16	地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトに参加	日本政策金融公庫
17	日本政策金融公庫国民生活事業のビジネスマッチングサイトに参加	野洲市商工会
18	商工フェアへの参加	



**②商工業者の自社製品(商品)の  
常設展示の実施。**



**野洲でディスプレイ！**

**(具体的事業)**

①市内には企業が多くあり、特に駅前はJR琵琶湖線を利用したさまざまな業界関係者が集まる。そこで、駅前周辺や市内遊休施設等に常設の製品(商品)展示場を設け、PRしていく。

**●役割分担と実施方法**

主 体	実 施 方 法
①企業・事業所・商業者・ 商工業団体・観光団体	○展示に関する全体管理 ○駅前開発に合わせた、総合案内所の設置
②市民・市民団体	*****
③行政	○展示場所の調整や確保

**【事業実施による効果】**

**①既存商工業者の活性化**

- 生産者と消費者の交流
- 野洲市商工業の振興・PR
- 商工業者への販売・PR支援
- 商工会・工業会と出展業者とのつながり

**②地域資源を活かした魅力づくり**

- 来訪者への、野洲市のPR
- 観光PR力の向上

**③人 材 育 成**

- 商工業者と市民・来訪者との交流
- ノウハウの蓄積・提供
- ノウハウを持った人材育成

**●実現のために利用できる関連制度 (2011年5月現在)**

実現のために利用できる関連制度		事 業 主 体
1	展示ギャラリーの利用	(公財)滋賀県産業支援プラザ
2	しが新産業創造ネットワークへの登録	
3	びわ湖環境ビジネスメッセへの出展	滋賀県商工観光労働部
4	日本政策金融公庫 国民生活事業のビジネスマッチングサイトへの登録	日本政策金融公庫



<イ>三上山（近江富士）周辺

③三上山(近江富士)周辺の来訪者を、びわ湖沿いに誘導したり湖岸の来訪者を三上山周辺や中山道へ誘導したりするコースの設定。



野洲をエンジョイ！

(具体的事業)

- ①三上山には登山者をはじめ、その周囲に公営、民営の多くの施設が点在している。対象者を子ども・家族連れ・高齢者別や交通機関別に分類し、各施設の魅力を紹介するガイドマップを作成し市民や来訪者に配布する。また、周辺施設に協力いただき、情報発信基地としての役割を依頼する。
- ②野洲駅から乗り捨てなどができる「レンタサイクルシステム」を考え、関係業者と連携して運営してもらう。
- ③三上山（近江富士）とびわ湖を結ぶコースは、道中で「見る・食べる・遊ぶ」が体感できるように設定する。さらに、来訪者が自治会内の史跡・祭等を巡ることで、市民がおもてなしの感覚をもち、地域観光を盛り上げる仕組みづくりをする。

●役割分担と実施方法

主 体	実 施 方 法
①企業・事業所・事業者・商工業団体・観光団体	○魅力あるガイドマップの作成・情報発信 ○「レンタルサイクルシステム」の企画・運営 ○体感コースの設定 ○「おもてなし」の仕組みづくり
②市民・市民団体	○意欲的に参加
③行政	○財政負担

【事業実施による効果】

①既存商工業者の活性化

- 生産者と消費者の交流
- 商工業者と市民・来訪者との交流
- 野洲市商工業の振興・PR
- 商工会と商工業者とのつながり
- 商工業者への販売・PR支援

②地域資源を活かした魅力づくり

- 観光PR力の向上
- 来訪者への、野洲市のPR
- 来訪者のおもてなし力の向上

③人 材 育 成

- ノウハウの蓄積・提供
- ノウハウを持った人材育成

●実現のために利用できる関連制度（2011年5月現在）

実現のために利用できる関連制度	事業主体
1 実践型研修事業(観光関係人材育成事業)への参加	経済産業省商務情報政策局
2 チャレンジショップ支援事業への参加	G-NETしが滋賀県立男女共同参画センター
3 地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトに参加	全国商工会連合会

<ウ>びわ湖（マイアミ浜）周辺



④ビワマス等を使用した伝統食「びわ湖の漁師料理」の普及や、農商工連携で湖魚を使った商品の開発や販売を行い、「食」へのこだわりと魅力を高める。

野洲をイート！

(具体的事業)

- ①滋賀県下で唯一、野洲が「びわ湖の漁師料理が食べられるまち」というキャッチフレーズでブランド化を図る。
- ②伝統食「びわ湖の漁師料理」を食べながら、地元の漁師さんや店主からの、食材や環境についての説明が聞けるようにする。
- ③伝統食「びわ湖の漁師料理」の料理講習会などを実施して情報発信をしながら、料理研究家等と調理方法や盛付け方法の研究、商品開発をする。
- ④伝統食「びわ湖の漁師料理」のおいしさと知名度を高め、利用を促進するために、市民・企業・商工業者等に情報発信する。

●役割分担と実施方法

主 体	実 施 方 法
①企業・事業所・事業者・ 商工業団体・観光団体	○食事提供・商品開発・情報発信
②市民（市民団体）	○食事提供・商品開発・情報発信
③行政	○財政負担

【事業実施による効果】

①既存商工業者の活性化

- 生産者と消費者の交流
- 野洲市商工業の振興・PR
- 商工会と商工業者とのつながり
- 商工業者への販売・PR支援
- 商工業者と市民・来訪者との交流

②地域資源を活かした魅力づくり

- 農商工の連携
- 来訪者への、野洲市のPR
- 観光PR力の向上
- 地産地消の促進
- 野洲市のブランド力向上
- 伝統料理の保護、新たな伝統の創造
- 来訪者のおもてなし力の向上
- 市民と来訪者との交流による、感動の生産

③人 材 育 成

- ノウハウの蓄積・提供
- ノウハウを持った人材育成
- 市民活動の発展

●実現のために利用できる関連制度（2011年5月現在）

実現のために利用できる関連制度		事業主体
1	実践型研修事業（観光関係人材育成事業）への参加	経済産業省商務情報政策局
2	組合等に対する相談・指導・支援を受ける	滋賀県中小企業団体中央会
3	チャレンジショップ支援事業への参加	G-NETしが滋賀県立男女共同参画センター
4	地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトに参加	全国商工会連合会
5	しがグリーンツーリズム連絡会（仮称）への参加	滋賀県農政水産部農村振興課（2012年2月現在）



⑤家棟川エコ遊覧船、ビワコマイアミランド、  
マイアミ浜オートキャンプ場などの施設で、  
環境体験やマリンスポーツを体験できるようにし、  
にぎわいを創出する。



野洲でエコ体験！

(具体的事業)

- ①家棟川の清掃を実施し、エコ遊覧船利用者に快適に過ごしてもらう。
- ②家棟川エコ遊覧船の利用促進のために、「びわ湖の漁師料理」とセットにした情報発信をする。
- ③初心者でも手ぶらで気軽に、さまざまなマリンスポーツが常時体験できるような仕組みをつくる。

●役割分担と実施方法

主 体	実 施 方 法
①企業・事業所・事業者・ 商工業団体・観光団体	○清掃活動 ○マリンスポーツ委託契約の検討 ○情報発信
②市民（市民団体）	○清掃活動
③行政	○関係機関との調整 ○財政負担

【事業実施による効果】

①既存商工業者の活性化

- 生産者と消費者の交流
- 商工業者と市民・来訪者との交流
- 野洲市商工業の振興・PR

②地域資源を活かした魅力づくり

- 環境保護
- 観光PR力の向上
- 来訪者への、野洲市のPR
- 河川の改修
- 既存施設利用によるコスト削減
- 来訪者のおもてなし力の向上
- 市民と来訪者との交流による、感動の生産
- 体験による感動の生産
- 既存施設の有効活用、発展

③人 材 育 成

- ノウハウの蓄積・提供
- ノウハウを持った人材育成
- 市民活動の発展

●実現のために利用できる関連制度（2011年5月現在）

実現のために利用できる関連制度		事業主体
1	実践型研修事業(観光関係人材育成事業)への参加	経済産業省商務情報政策局
2	地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトに参加	全国商工会連合会

<エ> 農産物生産地域周辺

⑥日帰りまたは宿泊施設を利用した農業体験をしてもらい、農産物おいしい理由を説明したり、収穫した農産物で加工品をつくり、本市の魅力を高める。



野洲で教育トラベル！

(具体的事業)

- ①貸し農園と近江富士花緑公園やマイアミ浜オートキャンプ場などの宿泊施設を利用した農業体験をPRし、農業と観光振興を組み合わせる。
- ②農産物生産者と商業者のマッチングを行い、農産物を利用したお土産になる加工品を開発する。
- ③国、県等が取りまとめる、グリーンツーリズム連絡会や、先例的に行っている近隣市町より情報収集を行い、その手法を学ぶ。

●役割分担と実施方法

主 体	実 施 方 法
①企業・事業所・商業者・ 商工業団体・観光団体	○おもてなし方法の検討 ○情報発信 ○農産物の加工品開発
②市民（市民団体）	○おもてなし方法の検討 ○情報発信
③行政	○情報提供

【事業実施による効果】

①既存商工業者の活性化

- 関係者間の交流

②地域資源を活かした魅力づくり

- 観光PR力の向上
- 農業と観光の同時振興
- 新たな商品の開発
- 来訪者への、野洲市のPR
- 体験による感動の生産
- 来訪者のおもてなし力の向上
- 既存施設の有効活用

③人 材 育 成

- 市民活動の発展
- 環境保護意識の向上
- ノウハウを持った人材育成

●実現のために利用できる関連制度（2011年5月現在）

実現のために利用できる関連制度		事 業 主 体
1	実践型研修事業(観光関係人材育成事業)への参加	経済産業省商務情報政策局
2	組合等に対する相談・指導・支援を受ける	滋賀県中小企業団体中央会
3	しがグリーンツーリズム連絡会(仮称)への参加	滋賀県農政水産部農村振興課(2012年2月現在)

<オ>市内全域

⑦ものづくり経営交流センターや県の制度などを活用し、経営改善をする。



野洲でステップアップ!

(具体的事業)

- ① 大小の規模に関係なく、企業や商業者が必要な時に経営改善が受けられる環境をつくる。
- ② 経営改善の制度があることや利用方法について、商工業者に啓発する。

●役割分担と実施方法

主 体	実 施 方 法
① 企業・事業所・商業者・ 商工業団体・観光団体	○経営改善を受けやすい環境づくり ○情報発信
② 市民（市民団体）	*****
③ 行政	○助成金などによる支援

【事業実施による効果】

①既存商工業者の活性化

- 野洲市商工業の振興・実績PR
- 商工会・工業会への加入率向上
- 商工会・工業会の実績PR
- 経営改善制度の普及
- 各種制度についての、情報量の増加
- 商工会・工業会と、商工業者とのつながり

②地域資源を活かした魅力づくり

- 野洲市と他機関との連携強化

③人 材 育 成

- ノウハウの蓄積・提供
- ノウハウを持った人材育成

●実現のために利用できる制度（2011年5月現在）

実現のために利用できる関連制度		事 業 主 体
1	中小企業支援ネットワーク強化事業（経営課題解決）への参加	経済産業局
2	中小企業診断士の相談	(社)中小企業診断協会
3	新創業融資制度の相談	日本政策金融公庫
4	信用保証制度を利用	滋賀県信用保証協会

5	専門家派遣事業を利用	(公財)滋賀県産業支援プラザ
6	下請かけこみ寺の利用	
7	技術研修事業の利用	
8	しが新産業創造ネットワークへの登録	(公財)滋賀県産業支援プラザ
9	下請取引の斡旋(ビジネスマッチングステーション)	
10	貿易投資ビジネス支援を受ける	
11	経営力強化のための研究会への参加	
12	窓口相談事業の利用	滋賀県商工会連合会
13	エキスパートバンク制度を利用	
14	経営指導員による相談・指導を受ける	
15	経営安定相談の利用	(独)中小企業基盤整備機構
16	専門家継続派遣事業への依頼	
17	事業承継円滑化支援事業の利用	
18	相談窓口事業の利用	
19	経営セーフティ共済制度の利用	
20	中小企業支援センターの利用	(独)雇用・能力開発機構 滋賀センター
21	雇用管理改善等への支援を受ける	
22	組合等に対する相談・指導・支援	滋賀県中小企業団体中央会
23	技術に関する相談・指導を受ける	滋賀県工業技術総合センター
24	技術普及講習会を受ける	
25	試験分析機器の利用	
26	経営支援資金(一般枠・小規模企業者枠・小規模企業者つなぎ枠)の利用	滋賀県商工観光労働部
27	セーフティネット資金(新規枠・借換枠)の利用	
28	政策推進資金(経営革新枠・特定産業枠・CO2排出量削減枠・雇用支援枠)の利用	
29	緊急経済対策資金(新規枠・借換枠)の利用	
30	市町小規模企業者小口簡易資金の利用	野洲市役所環境経済部商工観光課
31	サービス産業における業務改善標準整備事業	中小企業庁
32	定年引上げ等奨励金の利用	(独)高齢・障害者雇用支援機構
33	障がい者初回雇用奨励金の利用	ハローワーク(公共職業安定所)
34	均衡待遇・正社員化推進奨励金の利用	都道府県労働局
35	野洲市中小企業者向け利子補給制度	野洲市役所環境経済部商工観光課



⑧伝統工芸や製品の製造過程が見学できる  
ツアーを実施し、地域貢献と自社のPRをしてもらう。



野洲でプチツアー！

(具体的事業)

- ①伝統工芸や製品の製造過程が見学できるツアーを企画・実施し、参加者からのクチコミやブログ等で魅力を情報発信してもらう。

●役割分担と実施方法

主 体	実 施 方 法
①企業・事業所・商業者・ 商工業団体・観光団体	○見学ツアーの企画・実施
②市民（市民団体）	○意欲的に参加
③行政	○口コミを利用した情報発信 ○宣伝広告費等の事業補助 ○「滋賀・野洲で“大人のプチたび”」の重点事業化

【事業実施による効果】

①既存商工業者の活性化

- 商工業者と市民・来訪者との交流
- 既存事業の拡大
- 野洲市商工業の振興・PR
- 商工業者への情報発信による支援

②地域資源を活かした魅力づくり

- 来訪者への、野洲市のPR
- 観光PR力の向上
- 来訪者のおもてなし力の向上
- 野洲市の全国へのPR
- 体験による感動の生産
- 自立した情報発信の仕組みづくり
- 市民と来訪者との交流による、感動の生産

③人 材 育 成

- 市民活動の発展
- ノウハウを持った人材育成
- ノウハウの蓄積・提供
- 既存ノウハウの活用
- 地域貢献意識の育成



●実現のために利用できる制度（2011年5月現在）

実現のために利用できる関連制度		事業主体
1	新卒者就職応援プロジェクトへの参加	中小企業庁
2	合同就職説明会への参加	
3	実践型研修事業(観光関係人材育成事業)への参加	
4	ジョブカフェへの参加	経済産業局
5	ドリームマッチプロジェクトへの参加	経済産業政策局
6	ドリームワークスタイルプロジェクトへの参加	
7	展示ギャラリーの利用	(公財)滋賀県産業支援プラザ
8	しが新産業創造ネットワークへの登録	
9	びわ湖環境ビジネスメッセへの出展	滋賀県商工観光労働部
10	地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトに参加	全国商工会連合会
11	大人のプチたびへの参加	野洲市商工会
12	商工フェアへの参加	



⑨テーマを設定して市民・学生・企業・事業所等の民間からイベントの手法を提案してもらい、実施・評価することで「野洲」への関心を高めてもらう。



野洲をデザイン！

(具体的事業)

- ①花火大会などの大型イベントについて、これまでの観客的な意識から参加型意識に変化するための手法について、意見を出してもらう。
- ②提案された手法について実践したり、評価の高かった内容については、ホームページ等で公開したり、表彰したりする。
- ③自薦・他薦を問わず、商工業の活性化とまちの賑わいづくりに取り組んでいる商工業者を公募し「野洲市のビジネスモデル」として市のホームページ等で評価する。

●役割分担と実施方法

主 体	実 施 方 法
①企業・事業所・商業者・ 商工業団体・観光団体	○提案の募集・評価 ○人材育成
②市民（市民団体）	○提案
③行政	○表彰制度創設の支援 ○評価システム

【事業実施による効果】

①既存商工業者の活性化

- 自社のPR

②地域資源を活かした魅力づくり

- 来訪者のおもてなし力の向上
- 野洲市の観光の振興
- 自らが主役になり、行動することによる感動の生産
- 自立した観光の仕組みづくり

③人 材 育 成

- ノウハウの蓄積・提供
- ノウハウを持った人材育成
- 郷土愛の育成
- 地域貢献意識の育成
- 市民活動の発展
- 市民意思の行政活動への反映

●実現のために利用できる制度（2011年5月現在）

実現のために利用できる関連制度		事業主体
1	マザーズビズカフェへの参加	G-NETしが滋賀県立男女共同参画センター
2	チャレンジショップ支援事業に参加	
3	しが新産業創造ネットワークへの登録	(公財)滋賀県産業支援プラザ

⑩市内で収穫された農水産物を利用してメニューを作り、飲食店で提供してもらおう。



野洲をブランド化！

(具体的事業)

- ①飲食店で新たな仕入れ取引をしていただくことは非常に難しいため、市内で収穫される農水産物生産者と飲食店でマッチングを行う。
- ②「安全・安心」の地元の食材を使用していることを示すのぼりやシールを作成しPRしていく。

●役割分担と実施方法

主 体	実 施 方 法
①企業・事業所・商業者・ 商工業団体・観光団体	○マッチング会の開催
②市民（市民団体）	*****
③行政	○マッチング会の開催 ○地元食材を使用する団体に対するPR支援

【事業実施による効果】

①既存商工業者の活性化

- 商工業者と市民・来訪者との交流
- 野洲市商工業の振興・PR
- 商工業者への情報発信による支援
- 生産者と飲食店・消費者との交流

②地域資源を活かした魅力づくり

- 観光PR力の向上
- 来訪者のおもてなし力の向上
- 体験による感動の生産
- 市民と来訪者との交流による、感動の生産
- 自立した情報発信の仕組みづくり
- 地産地消の促進
- 野洲市の全国へのPR
- 来訪者への、野洲市のPR

③人 材 育 成

- ノウハウの蓄積・提供
- ノウハウを持った人材育成
- 地域貢献意識の育成

●実現のために利用できる制度（2011年5月現在）

	実現のために利用できる関連制度	事業主体
1	しが新産業創造ネットワークへの登録	(公財)滋賀県産業支援プラザ
2	地域力活用新事業∞全国展開プロジェクトに参加	全国商工会連合会

## 6. 野洲市の将来像（イメージ図）



民間の力を  
「資源」に！

市民参加型から  
市民主体型へ！

計画内容(案)を積極的に議論・提言  
必要となる財源確保(行政予算措置・各補助制度を活用)

人材育成

商工業者の活性化

地域資源を  
活かした魅力づくり

変化する社会状況にあわせて計画の見直し  
引き続き、調査・研究を行い計画に磨きをかける

課題解決

特効薬！  
による効果！



“野洲の商工業の活性化とまちの賑わいづくり”の実現

目指すべき  
ゴール

おもてなし！感動！リピート！



## 7. 将来像を実現するための取り組み

### 7-1. 将来像の実現に向けて

#### (1) 概要および実施目標等

この指針をより現実的なものにするために、「仮称：野洲市商工業振興指針実現に向けた運営委員会（ワーキンググループ）」を設置し、都市計画整備や各業界・業種ごとの個別案件に対する提言・要望を積極的、かつリアルタイムに実施していく。

また、単に提言・要望するだけでなく、行政懇談会や意見交換会を通じ、要望の実施状況を随時公開するとともに、実行するための予算化に向けた協議を関係課と行っていく。

#### (2) 具体的な取り組み内容

行政、商業者、観光団体等が連携を図り、具体的に行う事業・施策（10事業）について、ワーキングを行い随時検討する。

- ・具体的に行う事業・施策（10事業）の個別案件に対する課題検証
- ・事業動向や雇用状況等の商業者ニーズの確認および調査・研究
- ・問題解決に向けた、具体的事業の実行による課題検証

### 7-2. 商工業者からの意見の反映に向けて

#### (1) 概要および実施目標等

商工業者がかかえている問題や課題を検証したうえで、具体的に行う事業・施策（10事業）のうち、最も必要とされる事業を実行する。

また、実行するために必要な経費等については、国や県等の補助制度をうまく活用する。

#### (2) 具体的な取り組み内容

商工業者に係る問題などについて、現状、課題を聞き取り、調査・研究を重ねるとともに、事業動向、雇用状況、商業者ニーズを確認する。

また、すべての課題が、商工業者の責務ではなく、市民、商工業者、行政などが協働連携しながら問題解決に向けた具体的事業を行う。

仮称:野洲市商工業振興指針実現に向けた  
運営委員会(ワーキンググループ)

Action  
見直し

事業課題の精査...再確認を行い、精度を上げ、磨きをかける(継続的改善)

ワーキング STEP1

具体的に行う事業・施策(10事業)の  
個別案件に対する課題検証を行う！  
具体的事業を実現するための実施計画を、重要性・必要性・  
緊急性など考慮し、短期(1年～2年)・中期(3年～4年)・長  
期(5年～)で優先順位を検討する。

Plan  
計画

調査・研究 STEP2

事業動向、雇用状況、事業者ニーズを確認する！  
商工業者がかかえている現状、課題を聞き取り、調査・研究を  
行い、問題解決に向けた具体的事業を行う。

○単に提言・要望するに終わらないためにも、各種団体等における行政懇談会や意見交換会を通じ、要望の実施状況を随時確認する。  
○具体的事業・施策(10事業)については、ワーキング、調査・研究の結果により見直しを行う。

*ポイント:すべての課題が、商工業者の責務ではなく、  
市民、商工業者、行政などが協働連携する仕組みづくり!*

**⇒ 具体的事業必要に応じて予算化(費用対効果の確認)**

Do  
実施運用

問題解決に向けた、具体的事業・施策(10事業)の実行 STEP3

課題検証

- ☆具体的事業・施策による効果があったか?
- ☆地域商工業者の活力強化と経営環境改善されたか?
- ☆消費者ニーズ、商工業者ニーズとの調和とバランスはどうか?

**⇒内容の見直し!リアルタイムな是正!**

意見集約

Check  
点検是正

### 7-3. ハード事業の具体案（将来展望）

この指針では、重要性・必要性・緊急性を考慮し、即効性のある事業を展開するために、ソフト事業のみに限定した。

将来展望として、具体的に行う事業・施策（10事業）以外に、商工業者が賑わうために欠かせない、土地基盤整備等のハード事業も必要となってくる。

実行するためには、法令的、予算的、あるいはパブリックコメント等を行い、本市の商工業が賑わうための重要な施策となることから、今後、市全体での検討課題として取り組んで行く。

#### 【ハード事業の具体案】

- ①地産地消の農水産物を買える施設を整備
- ②市民ホールと併設した、カフェ、個人商店等の、人が滞在できる野洲駅前の開発
- ③点在する商店の集積のためにも、道の駅など共同施設を設置
- ④総合的なアミューズメント施設を設置
- ⑤駅前市有地に新たな中心市街地商店街の整備
- ⑥三上山、希望が丘に行く人の休憩所、アンテナショップ等を設置し、野洲の名産品を販売
- ⑦湖南幹線の延伸による道路整備によりアクセスの向上を図り、吉地、西河原地域の商業発展
- ⑧琵琶湖周辺から河川までのクルージングやマリンスポーツの体験（バナナボート、パラグライダー等）ができるリゾート的な施設を運営
- ⑨あやめ浜付近に、水生体験学習や湖魚料理を食べられる湖の駅などの設置
- ⑩琵琶湖の湖魚をイケスで飼い、「活かたまま」を食べることができる施設の設置
- ⑪エコ遊覧乗船場所等に、利用者の為の雨天用常設施設（ログハウス等）を設置
- ⑫車利用者に対し、ナビ等で市内の施設やお店が紹介できるシステムを構築
- ⑬コミセンや空き店舗を活用し、買物弱者がタッチパネル等で商品を注文できるシステムの構築
- ⑭買い回り商品を一括宅配できる集中サービスセンターの設置
- ⑮道路整備・8号線バイパス、サイクルロードの整備



## 8. 商工業者のビジネスモデル事例

### ビジネスモデルが未来を拓く・・・新ビジネス戦略！

近年における、少子高齢化・人口減少に伴うマーケット縮小などの環境変化は、個人消費に直接関係する小売業や、飲食店、個人向けサービス業だけでなく、卸売業や企業・事業所にも、さまざまな影響を及ぼしている。

新たな価値観を持った高齢者層の増加や、健康志向などの消費者ニーズの変化を把握することが大切である。

### 商工業における地域貢献や人材育成の重要性・・・人！やる気！つながり！

消費者ニーズのなかで、商品開発や提供だけでなく、地域への貢献が求められており、地域に密着した取り組みが、『人と人とのつながり』を創出し、まちの賑わいづくりに重要な役割を果たしている。

自発的に地域貢献等を行うことにより、商工業者への関心がより一層深まり、次世代への後継者づくりや人材育成へと繋がっている。

また、こういった取り組みの積み重ねが、消費者との安心、安全な関係を築き、商品等の購買意欲や販売促進につながり、新たなビジネスチャンスを生み出すことになる。

### 「ビジネスモデル事例」掲載の趣旨・・・やすの元気を発信！

- ①消費者ニーズに応え、にぎわいや興味深い事業の展開
- ②地域貢献につながる取り組み
- ③地域貢献につながる人材育成の展開
- ④地域資源を活かした事業展開

本市において、日頃から積極的・自主的に地域密着型の商工業振興に取り組み、まちの活性化に貢献されている、商工業者を市民より他薦・自薦を問わず募集した。

委員会における推薦も含め、上記①～④を実現しているか審査し、この指針において、「ビジネスモデル事例」として掲載した。

なお、今回の事例掲載は一例であるため、引き続き「ビジネスモデル事例」を紹介しながら、まちの商工業者が元気であることを情報発信していく。



※先進事例の紹介が目的であり、特定の企業等の宣伝やPRをするものではありません。

## ①野洲市の新たな取り組み ～ものづくりによる地域振興～

実施団体：野洲市ものづくり経営交流センター(MMCC)

野洲市では、国際競争の中で企業が培ったものづくりの知識や技能を伝承し、これにより、地域産業を活性化するための拠点として、野洲市ものづくり経営交流センター(MMCC)を、平成22年5月に開設しました。

本市は、日本を代表する電子デバイス製造企業をはじめ、多種多様な製造企業が操業する『ものづくりのまち』です。近年、リーマンショック以降の急激な景気悪化により企業の投資・新たな企業立地が困難な状況が続いている中、本市では、既存の企業誘致事業に加え、新たに、企業への経営改善支援事業を打ち出しました。

この事業が実現できた背景に、本市に、大手製造企業などを退職した人たち(ベテラン人材)が多数在住していることがありました。この事業は、ものづくりのベテラン人材を「地域資源」と考え、その「資源」と企業の「現場」をマッチングさせることにより、ベテラン人材の持つ高度な能力を活かす場を確保しながら、企業の現場競争力を高め、地域産業の活性化につなげることを目指しています。

MMCCは、ものづくりインストラクター養成スクールを地方で展開したいと考えていた、東京大学ものづくり経営研究センター(MMRC)と連携しながら取り組みを進めています。

また、センターの運営面では、立命館大学経営学部のものづくりソリューションラボの支援を受ける中、厚生労働省と経済産業省の補助金や、地元金融機関からの協力金などを運営資金として、企業の経営改善指導、人材育成(スクール事業)、公開講座などの事業を行っています。

平成22年度事業では、経営改善事業として市内外4社に現場指導を実施し、スクール事業では、7名のインストラクターが誕生しました。また、平成23年度事業では、スクール事業修了生による経営改善も開始するなど、取り組みを広げており、MMCCをものづくりの情報発信拠点として、活用したいと考えています。

経営改善を行った各企業では、作業レイアウトの変更や作業方法を変更するなどの改善を実施し、うちA社で、作業工程の不良率を37%削減できたとの成果報告がありました。

これらの動きに国内の自治体関係者だけでなく、韓国の中小企業関係者もMMCCを訪れるなど、注目を集めています。



## ②手漕ぎ舟と漁師料理

～環境問題への取り組みと、ほんものの味でおもてなし～

実施団体：NPO法人家棟川流域観光船事務局

野洲市の山からびわ湖までを縦断する家棟川で、屋形舟を運行しています。地域のお年寄りが櫓を漕ぎます。上りは三上山を、下りは比良山脈を眺めながら、雄大な自然の川をびわ湖まで楽しむ舟旅です。船頭は、川やびわ湖の環境、歴史など、それぞれの人生経験にもとづいて話をします。

「船頭と 故郷の話 葛の花」(乗船者の一句)

家棟川は、野洲市の八割の川が合流してびわ湖に注いでいます。そのため、同市の川や道路のゴミが大量に流れ込み、びわ湖を汚し続けています。あやめ浜は、かつて、ヘドロでしじみが生息できなくなっていました。

以前、この河口部には50haの野田沼があり、そこはもろこなど、沢山の魚の生息地でした。家棟川の生態回廊の再生をめざし、水源の山から森、田畑、川、びわ湖とつながる環境を保全する活動を続けています。

手漕ぎ舟に乗って、川やびわ湖の自然の素晴らしさに触れること、またその自然が汚され続けている実態を見てもらうことで、自らのライフスタイルを変えて水を大切に、ゴミを捨てないようにすることを呼びかけています。

また、子ども達は、絶好の自然体験ができます。具体的な内容は、川の様々な自然観察や櫓漕ぎ練習、水質や生態調査などです。日頃、川は危ないから近づかないように言われている子供たちが、この日は思い切って水遊びができるのです。彼らは、生き生きと水に手をつけて感触を味わっています。あやめ浜でのしじみ掴みでは、何時間でも集中してしじみを獲っています。

さらに、びわ湖で獲れた魚や、地域の農産物を使って作った「漁師料理」を提供しています。ビワマスの造りや煮つけ、アメノイオご飯など、その時々旬の料理が食べられます。あやめ浜で獲れ始めた、しじみを使ったしじみ汁は、格別においしいです。びわ湖周辺の田んぼで、農薬や化学肥料を半減する「魚のゆりかご水田」農法で収穫した米も販売しています。

大阪や京都、名古屋など県外にもPRして来訪客を増やし、地域の人々の働く場を確保することを通じて、野洲市の経済や農林漁業の振興に役に立てればと考えています。



※先進事例の紹介が目的であり、特定の企業等の宣伝やPRをするものではありません。

### ③滋賀・野洲で“大人のプチたび”

～“見る！”“触れる！”“体験ができる！”ツアー～

実施団体：野洲市商工会（地域商工資源活用コーディネーター事業）

賑わいのある元気な野洲市を実現するため、平成22年度より「地域商工資源活用コーディネーター事業」を同市から受託し、市内に点在する“こだわり商店”、“ものづくり工場”の魅力を、多くの市民や来訪者に発信しながら、それらを巡るツアーを企画し、商業観光や新たな産業観光の振興に取り組んでいます。

具体的には、「大人の社会見学のようなイメージ」、「1回の募集人数は最大20名」、「年齢は20歳以上限定」、「製造過程や出来たての商品を“見る！”“触れる！”“体験ができる！”ツアー」とし、普段から購入する商品に、生産者の「顔」があることを認識してもらえよう工夫をしています。

この事業には、市内商工業者への刺激になる効果に加え、近年の消費者ニーズを聞くことや、実際に現場を見てもらう機会を設けることで、改善点を見つめなおして志気向上につなげていただく効果がありました。

ツアーを計画することで、「商工業者」・「観光団体」・「農業者」が連携可能となり、点在する商店等を「点」から「線」で結ぶことで、各商工業者間での新たなマッチングによる商品開発や販路拡大に繋がることが期待できます。

例えば、材木店でMY箸作りをした後に、石材店のレーザー技術でネーム入れをし、野洲産米製粉工場を見学後、米粉を使ったパン・菓子店を訪問するなど、ストーリー性を持たせることが、参加者への印象付けに繋がります。加えて、普段マッチングしない商店等が連携できたことで、取引の開拓ができます。

また、参加者からは、「市内でも、知らないお店や神社などがいっぱいあり楽しかった。」、「普段入れない場所や、見たことのないところを見学できて楽しかった。」などの好評を得ています。最近では、リピーター参加者や、周りの人からのクチコミによる参加者が多くなっています。ツアー参加後に商品を購入に来られる方も、増えてきています。

今後も、この事業を通じて、新規商工会会員の拡大や、まちの商工業者のにぎわいづくりに繋がるよう、心掛けていきたいと思えます。



※先進事例の紹介が目的であり、特定の企業等の宣伝やPRをするものではありません。

## ④京セラグループ夏祭り『感謝祭』開催

～従業員や関係者だけでなく、地域住民も参加～

実施事業所：京セラ株式会社滋賀野洲工場

液晶パネル及び太陽電池セルを生産する量産工場です。特に、太陽電池セルを、2010年8月より本格操業しました。工場に太陽光発電システムを導入し、CO2排出量の削減により、地球環境保護に、積極的に貢献しています。

- 設立：2005年8月 ■工場長：和田幸男
- 敷地面積：約200,000㎡
- 従業員数：約700名〔京セラグループ従業員数含む：約1300名〕

【第1回京セラグループ夏祭り『感謝祭』開催】日頃の感謝の気持ちを皆様へ平成23年8月6日（土）第1回京セラグループ夏祭り『感謝祭』を開催しました。初めての開催ということもあり、大変心配していた訳ですが、来場者も、4300名を越え、盛況裏に終える事が出来ました。

特に、若手社員100名が、1ヶ月以上前から勤務終了後、毎日、夜遅くまで練習を積み重ねてきた「社員総踊り」を、大観衆の前で、渾身の力で披露しました。踊りが始まると会場の全ての人が、どんどん感動の渦に巻き込まれていき、踊りの終了後は、拍手・大喝采がいつまでも鳴り止みませんでした。

今回の夏祭りは、手作りの内容（チラシの作成／花作り／ステージバックの絵の作成／社員100名による総踊り等）でしたが、市民及び関係各位の皆様から、企画運営・会場作り・出し物・おもてなし・翌日の工場周囲の清掃などを評価していただき、「さすが世界の京セラさん」と大変有難いお言葉を頂きました。



※先進事例の紹介が目的であり、特定の企業等の宣伝やPRをするものではありません。

## ⑤「地域と共生する森の中の事業所」作りの推進

～恒例のしゃくなげ観賞会や清掃活動、緑化優良工場としての表彰～

実施事業所：株式会社 村田製作所 野洲事業所

村田製作所野洲事業所は、1987年に開設し、250人程の従業員でスタートしました。現在では、2,800人を超える規模にまで成長しました。ここでは、電子部品用原料などを製造してグループ各社に供給するほか、グループ最大の研究開発拠点として、セラミックスを応用した電子部品の研究開発、生産機器の開発を行っています。

村田製作所は、「そこにムラタがあることがその地域の喜びであり誇りであるように」と願い、地域と社会に貢献するさまざまな取り組みを推進しています。野洲事業所でも、長年にわたってチャリティバザー、郷土の花であるしゃくなげの観賞会、事業所周辺の清掃活動を行っています。開設以来、「地域と共生する森の中の事業所」作りをすすめ、滋賀県の花であるしゃくなげを敷地に約500本植栽するほか、約19,000本の樹木を育てています。春のしゃくなげの開花期には、地域の方々に緑地を開放し、観賞していただいています。

近年では、びわ湖の清掃活動や森林保全、里山保全活動も行っています。山と川そしてびわ湖といった豊かな自然を守り、子供たちの世代に引き継いでいくことを大切なことと考え、従業員やその家族で、清掃や保全活動を行っています。

さらに、未来を担う子どもたちに地球環境を守っていくことの大切さを知ってもらおうと、2005年からは、市内の小学校で、出前授業を開催しています。授業では、「廃棄物」や「地球温暖化」といったテーマで、楽しみながら学んでもらえるよう、クイズ形式を取り入れています。近年、問題視されている子どもたちの「理科離れ」を防ぎ、“ものづくり”企業として、理科や科学の面白さを伝えるために、自転車型ロボット「ムラタセイサク君」、「ムラタセイコちゃん」を紹介した理科授業もコラボレーションしています。

これらの活動をとおして、地域の人たちとより交流を深め、豊かな地域作りに貢献していきたいと考えています。



※先進事例の紹介が目的であり、特定の企業等の宣伝やPRをするものではありません。

## ⑥企業内ビオトープの取り組み

～地域の生物多様性保全を通じた環境貢献と地域貢献～

実施事業所：オムロン株式会社・野洲事業所

当社は「企業は社会の公器である」を企業理念の中核としています。企業は社会的な存在であり、よき企業市民として社会と共に生きねばならないという考えです。

日本初の8インチMEMSラインで作られる携帯電話等に組み込まれる超小型マイクロフォンなど、半導体電子部品を製造する野洲事業所では、地下水を工業用水として利用しています。その水を、取水した時点と同じ、もしくはより清浄な状態にして自然に返すことは企業の社会的責任であると考え、高度排水処理技術を導入しその目標を達成してきました。

従来、野洲事業所では、工場排水をそのまま河川放流してきましたが、2010年に、外部の方より、「この排水を利用して、希少種の保全に役立つようなビオトープができないか」とのご提案をいただきました。そこで、「環境負荷削減」の観点のみならず、「地域のいのちを育む水」として有効に活用すべく、専門家の皆様のご協力とご支援をいただき、絶滅危惧ⅠA類に分類されている「イチモンジタナゴ」増殖のためのビオトープ建設作業を、従業員も参加しながら進めてきました。

2010年4月には、琵琶湖博物館様、大津市の環境保護団体「ぼてじゃこトラスト」様が増殖されてきたイチモンジタナゴをお預かりし、オムロン野洲事業所のビオトープでの保護増殖が開始しました。従業員参加型で日々の世話をを行い、7月8日念願の稚魚が確認され、増殖成功を収める事ができました。

この取り組みは、絶滅の危機にある「イチモンジタナゴ」をシンボルに、地域の生物多様性の保全に向けた取り組みをオムロン社員が実践し環境について学ぶことを目的とするだけではなく、地域の子供たちへの環境学習会などを通じて、郷土の自然への愛を育むことも目的としています。

今後、近隣地区への積極的な働きかけを行い、このビオトープを媒体とした人と人とのつながりが感じられる場の提供、また「イチモンジタナゴをびわ湖に帰したい」という夢の実現、に協力していきたいと考えています。



※先進事例の紹介が目的であり、特定の企業等の宣伝やPRをするものではありません。

## ⑦地元の食材を使った商品開発、独自の発想による事業展開

～（財）食品産業センター会長賞を受賞～

実施事業所：パティスリー プティドール

野洲市市三宅の県道2号線、行畑誇道交差点にある、洋菓子店プティドールは、地産地消に取り組んでいます。近江富士で知られる「三上山」の麓で、有機栽培にこだわる農家の人参に出会い、「味もよく、体にもいい食材を使ってお菓子を作りたい。」と1年余りの試行錯誤を経て、独自特殊加工した粉末を生地に練り込んで焼き上げた人参ケーキ「祇王姫」を作りました。

乾燥人参を使用したことで、お菓子1個に人参約1/3本分が含まれており、人参嫌いの人でも食べられるように、お菓子の風味は、人参特有の匂いが出ないように工夫しています。

商品名は、野洲市が「平清盛に寵愛された妓王の生まれた地である」ことと、村人が水不足で苦しんでいるのを知り、清盛に願い出て、水路を掘らせた偉大な女性『妓王』に感謝する妓王寺があることから、人参ケーキ「祇王姫」と銘名しました。今日では、お土産に多くの方が利用されています。

地域には良い素材があっても、お菓子として確立できるまでにはかなりの時間がかかります。それでも私たちは、地道に活動し続け、消費者の皆様へ、美味しいお菓子を提案していくことで、喜んで頂きたいと考えています。

身体の事を考えた食生活で気になるのが、カロリーや脂肪、甘味です。「プティドール」では、出来る限り甘さを抑え、脂肪分も少なくしたケーキ作りに早くから取り組んでいます。生クリームも、独自にブレンドすることで、限界ギリギリの低甘味低脂肪でありながら、それがあまり気にならないと感じていただけるクリームの状態を見つけ出し、使用しています。

変わりつつある時代に、安全で安心な素材を探し、手間をおしまず、時間をかけて、じっくり作り上げたお菓子を提供していきたいと思えます。





※先進事例の紹介が目的であり、特定の企業等の宣伝やPRをするものではありません。

## ⑧「小さくても存在感のある本屋さん」を目指して

～親子の心を掴んだ事業展開～

実施事業所：絵本倶楽部

絵本倶楽部は、1994年10月、絵本の専門店として開店しました。

約7000冊の絵本・児童書の他に、木のおもちゃ・幼児用文具など、一般書店や、量販店のおもちゃ売場にはあまり並んでいない品揃えで、売場に特色を出す工夫をしています。

フロアには、子どもたちがおもちゃで遊ぶことのできるスペースも設置しておりますので、商品を手にとって実際に遊んでもらい、子どもの喜ぶ姿を見てから買っていただくことができます。

また、プレゼント用にとということでしたら、子ども一人ひとりに合わせたおもちゃをオススメします。その際には、カタログには書かれていない注意点まで説明するよう心掛けています。

子どもの情操教育への関心や、安全なおもちゃを子どもに与えたいというお客様のニーズは、年々高まりつつあると感じています。しかし、当店の目標とする集客数には、まだまだ届いていません。

とはいうものの、やみくもに集客や売上げを増やそうとすると、商品の流行を追いかけたり、価格競争に巻き込まれたりして、特色のある店はできないかもしれません。私たちは、専門小売店の場合には、自然体の店づくりで長く続く店を目指す方が、集客につながると考えています。

毎月、第1月曜日には、お話し会を開催しています。耳から聞くお話や絵本を楽しんでもらったり、わらべうた遊びをしたりすることを通じて、親子のふれあいが深まればと思っております。近隣の幼稚園・保育園・小学校への図書とおもちゃの納入など、地域に密着した取り組みは、これからも地道に続けていきます。そして、「小さくても存在感のある本屋さん」を目指していきます。



※先進事例の紹介が目的であり、特定の企業等の宣伝やPRをするものではありません。

## ⑨時代とお客様のニーズに合った、食事と空間のサービス

～紅茶と地元食材を利用した、こだわりのメニューや雰囲気提供～

実施事業所：株式会社スプーンテーブル

“自分たちが生まれて、今日まで育ったまちが大好き！”“いつまでも元気な野洲であってほしい！”という願いのもと、2003年に1号店ができました。

「まちの元気な食堂」というコンセプトのもと出発した1号店から、それぞれ基本理念、スタッフの想いは同じで、少しずつ雰囲気の違った店舗を、野洲を中心として、一年に一店舗のスピードで、隣接地に展開してきました。

お客様・スタッフ・業者様の三者すべてが幸せな笑顔の関係を築けるよう、努めてきました。

お店の方針は、契約農家の安心安全な野菜、実際に製造者の元を訪ね、信頼関係のもとに使わせていただいている自信のある食材を使用し、常にほんものを追求し続けていくことです。

紅茶だけでなく、雑貨や内装もほんものにこだわっています。スタッフは、お客様に対して後ろを向くことなく、心の底からの笑顔でお迎えしています。

また、調理やお客様へのサービスを重視することはもちろんと、スタッフや業者様、それからお客様との会話を大切にした関係を築いています。

スタッフは、お客様が欲されていることにいち早く気づくよう心がけ、常に先手で動くようにしています。そのために、スタッフ同士で、どんな小さな情報でも共有するようにしています。

さらに、東京のレストランとも交換研修を進んで取り入れ、都会の名店に匹敵するおもてなしを滋賀で提供できるようにしています。

2012年の春には、野洲にまた新たに紅茶の専門店がオープンします。

おもしろい店です。ご期待ください。



## 9. 指針策定までの議論経緯

### 9-1. 指針策定の背景

#### 市の概要

本市は平成16年10月に旧中主町と旧野洲町が合併し誕生した都市で、滋賀県の南部の湖南地域に位置しており、西は守山市、栗東市、南は湖南市、東は近江八幡市、竜王町に接し、東西10.9km、南北18.3kmに広がり、面積は80.15km<sup>2</sup>（平成23年2月1日現在）である。

大阪市まで約65km(約60分)、京都市まで約25km(約30分)の距離にあり、JR東海道線(琵琶湖線・京都線)で連絡されており、京阪神への通勤者も多い。

気候の漸移地帯に位置し、変化に富んだ気候で北陸と瀬戸内気候の特色が共存した気候が特徴で、比較的温暖で雨量の少ない地域である。

地形は、東南部の三上山から妙光寺山、鏡山等によって形成する山地部と、山地から琵琶湖に向かって緩やかに広がる平坦地に分けられ、山地部には三上・田上・信楽県立自然公園、希望が丘文化公園、近江富士花緑公園等が立地し、自然環境とレクリエーションに親しめる施設が立地している。

また、平坦地は野洲川・日野川等で形成された沖積平野で野洲川右岸の扇状地には市街地が形成され、平坦な三角州は農地として利用されており、琵琶湖湖岸周辺には吉川緑地公園、ピワコマイアミランド、マイアミ浜オートキャンプ場等の自然公園やレジャー施設が立地している。

さらには、日本最大の銅鐸が出土し、「銅鐸のまち」として知られ、他にも古墳群や神社仏閣など豊富な歴史・文化遺産に恵まれたまちでもある。



## 人口動態

### 人口および世帯推移

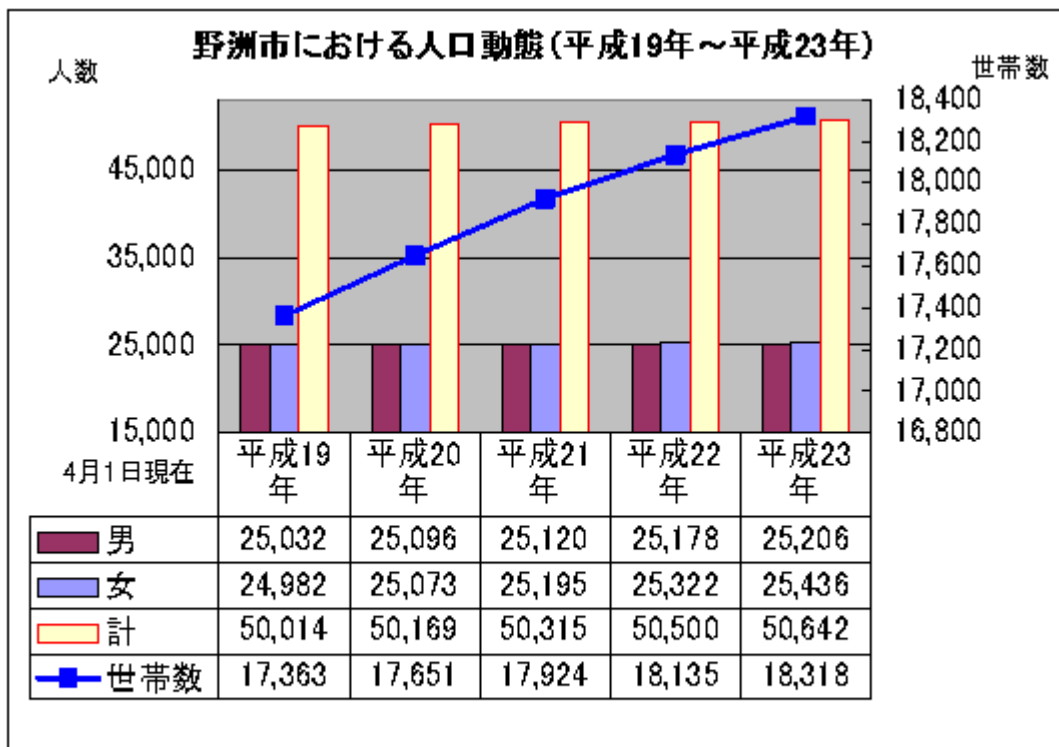
合併時（平成16年10月現在）の人口は、49,531人(16,467世帯)となっている。

平成23年から過去5年間の男女別人口動態（表1参照）からもわかるように、緩やかながら人口が増加（増加率1.2%）しているが、世帯数の増加（増加率5.2%）から判断すると、単身世帯が増加していると思われる。

また、男女の割合も5年前と比べると、女性が増加傾向にあることもわかる。

人口は地域の力を表す最も基本的な指標であり、人口が減少することは、地域の経済や社会に様々な影響を及ぼすことが懸念される。

表 1



参考：野洲市総人口世帯集計より

※数値は外国人を含む

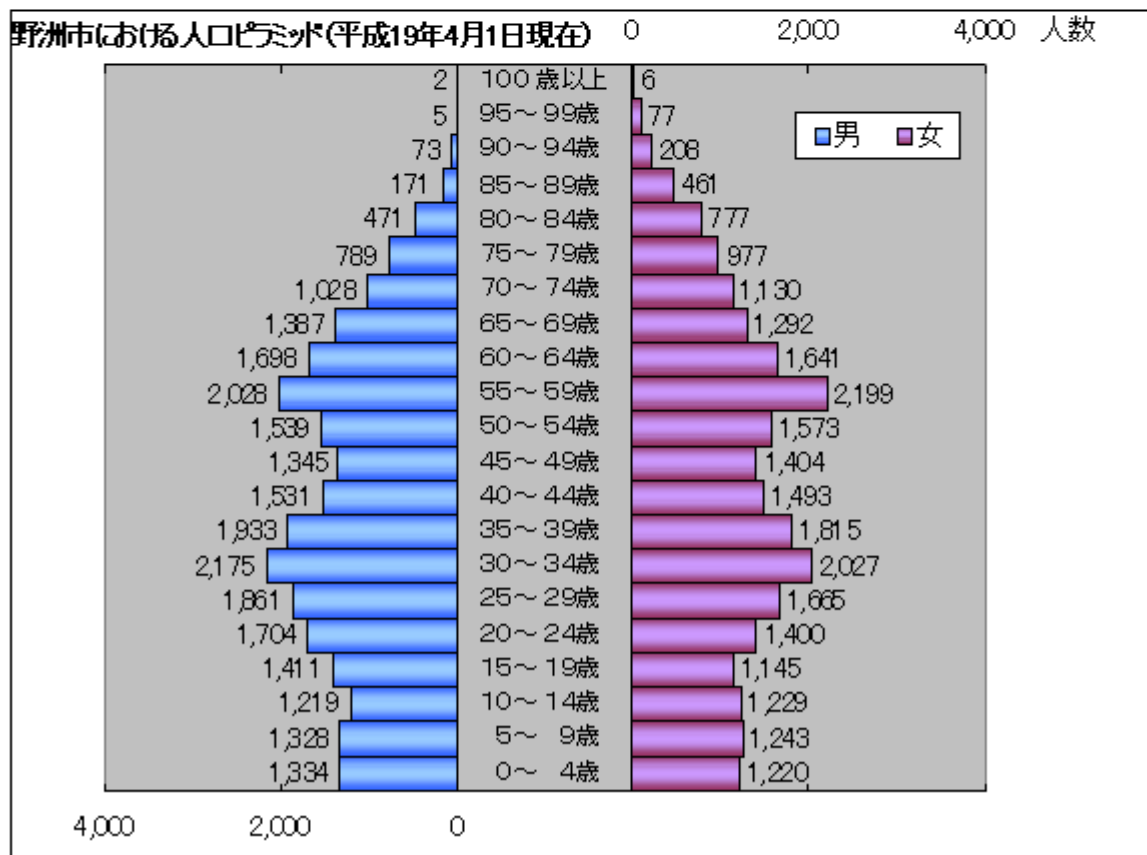
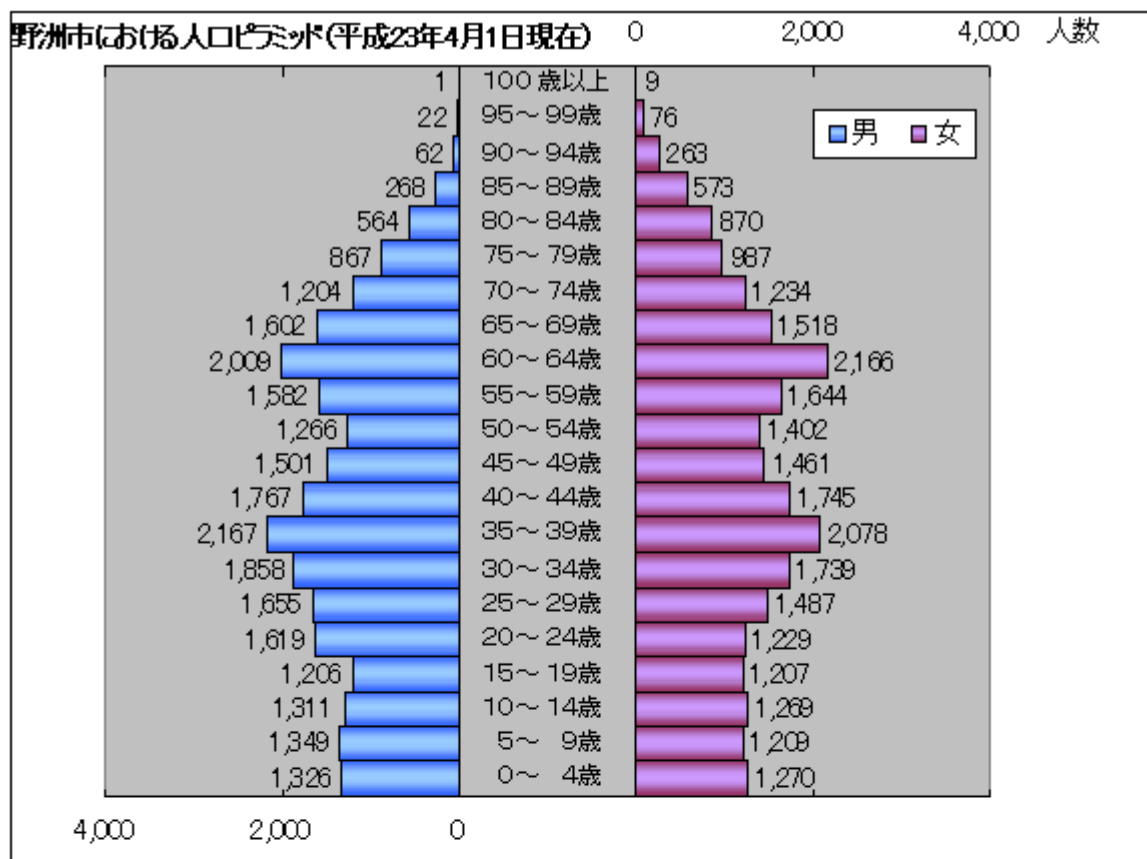
### 平成19年～平成23年の5年間で人口および世帯推移

世帯数の増加から比べると緩やかながら人口増加傾向

（単身世帯もしくは少子世帯の増加が考えられる。）

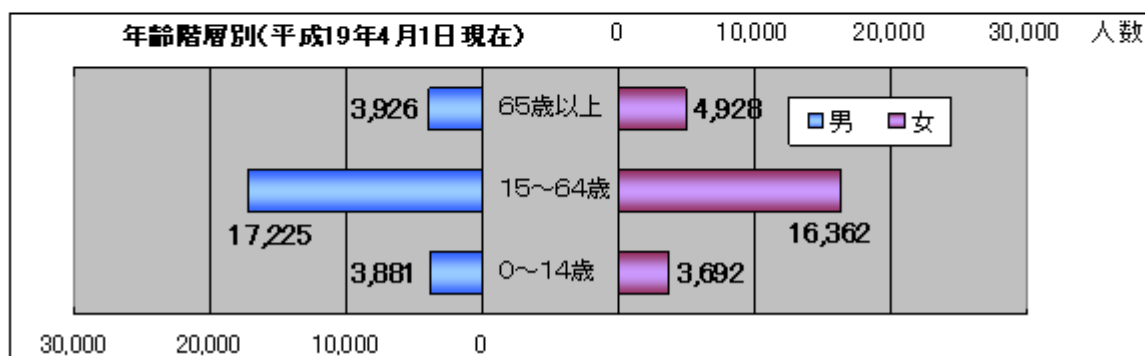
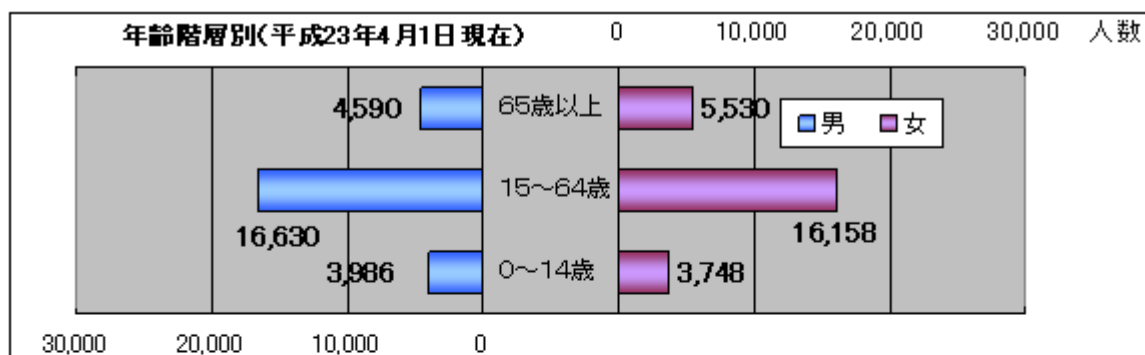
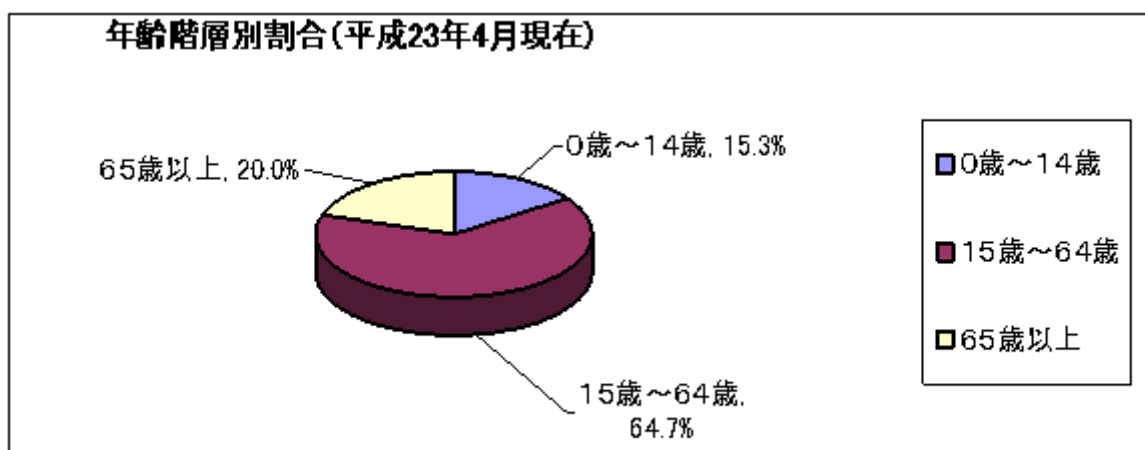
⇒近年では、男女割合に変化（男性：減少、女性：増加）

## 年齢別人口の推移



参考：野洲市年齢別人口より  
※数値は外国人を含む

## 年齢階層別人口の割合



参考：野洲市年齢別人口より  
※数値は外国人を含む

### 平成19年～平成23年の5年間の年齢別人口の推移

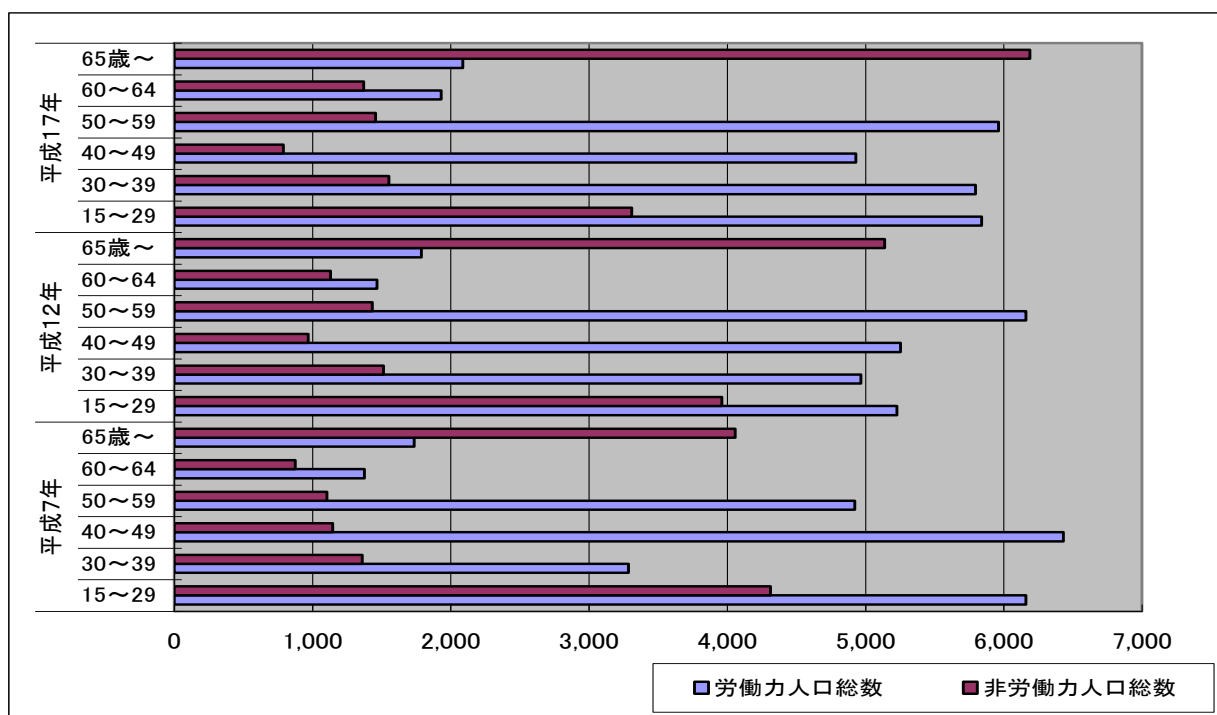
老年者人口（65歳以上）・・・14.3%増加（全体人口の20.0%）

幼年者人口（14歳まで）・・・2.1%増加（全体人口の15.3%）

その他人口（15歳～64歳）・・・2.4%減少（全体人口の64.7%）

⇒高齢者の増加が著しい一方、幼年者数は緩やかな増加（少子高齢化現象）

## 雇用・就労状況（労働力人口）



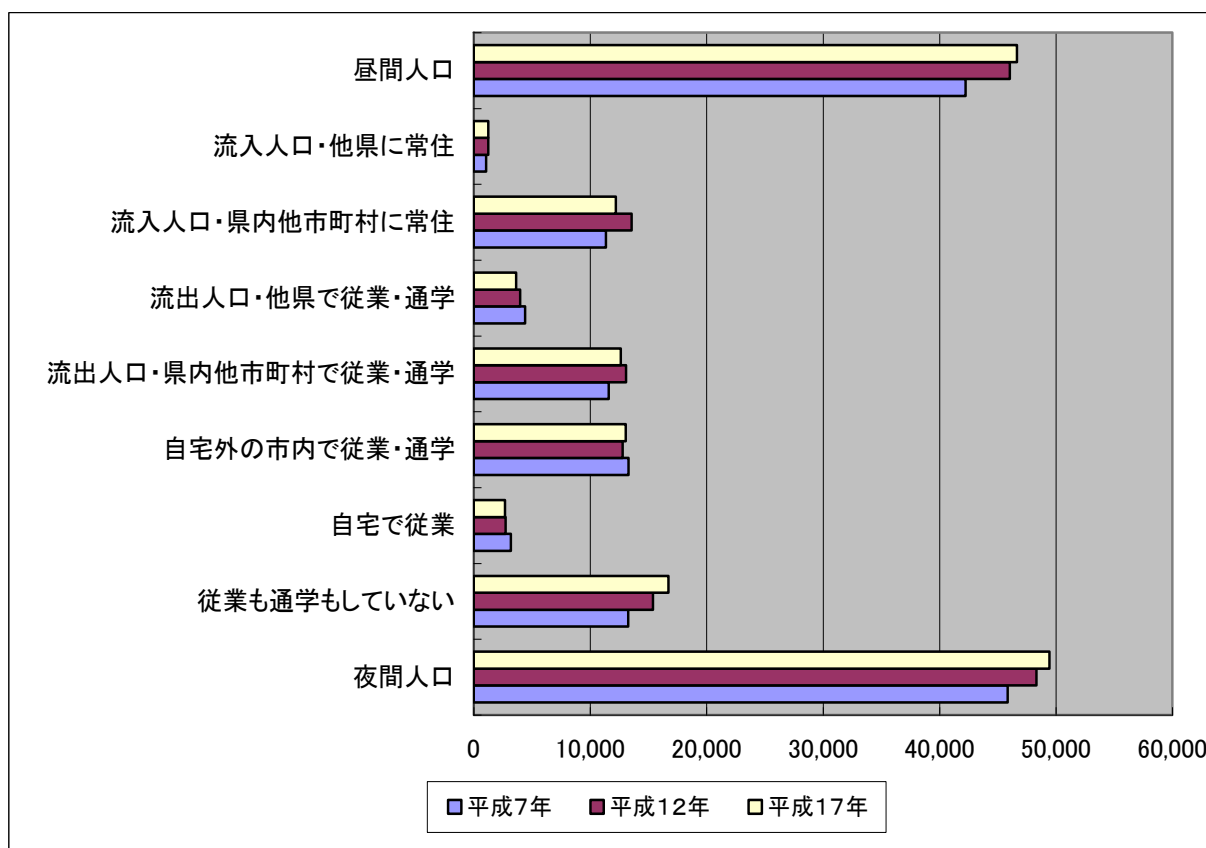
年齢 (5歳階級)	総数	労働力人口					非労働力人口				
		総数	就業者 総数	主に 仕事	休業者	完全失 業者数	総数	家事	通学	その他	
平成7年	総数	37,945	23,912	24,337	22,555	216	671	12,858	6,165	3,480	3,213
	15～29	10,490	6,160	5,868	5,286	50	298	4,313	706	3,474	133
	30～39	5,762	3,287	4,304	6,297	42	73	1,360	1,270	3	87
	40～49	7,595	6,431	6,356	4,977	30	75	1,147	1,081	1	65
	50～59	6,038	4,922	4,852	4,003	50	70	1,105	1,043	1	61
	60～64	2,258	1,377	1,261	985	18	116	875	655	1	219
	65歳～	5,802	1,735	1,696	1,007	26	39	4,058	1,410	0	2,648
平成12年	総数	40,707	24,868	25,298	21,152	300	973	14,148	7,156	3,073	3,919
	15～29	10,676	5,229	6,267	5,650	68	365	3,961	715	3,055	191
	30～39	6,558	4,968	4,817	4,224	58	151	1,513	1,377	14	122
	40～49	6,269	5,253	5,167	4,196	38	86	969	843	1	125
	50～59	7,622	6,162	6,007	5,019	59	155	1,434	1,246	1	187
	60～64	2,613	1,467	1,332	996	24	135	1,132	748	0	384
	65歳～	6,969	1,789	1,708	1,067	53	81	5,139	2,227	2	2,910
平成17年	総数	41,963	26,549	25,380	20,812	336	1,169	14,671	6,749	2,650	5,272
	15～29	9,383	5,840	5,415	4,767	69	425	3,311	592	2,622	97
	30～39	7,604	5,795	5,549	4,794	93	246	1,554	1,441	21	92
	40～49	5,813	4,932	4,818	3,882	33	114	789	697	3	89
	50～59	7,491	5,964	5,778	4,699	60	186	1,456	1,307	2	147
	60～64	3,332	1,931	1,808	1,386	33	123	1,371	852	1	518
	65歳～	8,340	2,087	2,012	1,284	48	75	6,190	1,860	1	4,329

注) 総数には「不詳」を含む

資料：平成17年国勢調査より

近年、高齢者（特に65歳以上）の非労働人口が増加している。  
また、40歳代の中年層の労働人口が減少している。  
世界的不況の煽りによる廃業や倒産、リストラ等によるものと考えられる。

## 昼間人口・夜間人口



	夜間人口	従業も通学もしていない	自宅で従業	自宅外の市内で従業・通学	流出人口		流入人口		昼間人口	昼間人口比率
					県内各市町村で従業・通学	他県で従業・通学	県内各市町村に常住	他県に常住		
平成7年	45,865	13,254	3,186	13,289	11,596	4,414	11,344	1,054	42,253	92.1
平成12年	48,326	15,388	2,750	12,785	13,085	3,997	13,547	1,244	46,035	95.3
平成17年	49,453	16,724	2,683	13,043	12,619	3,641	12,211	1,261	46,665	94.4

注) 総数には「不詳」を含む

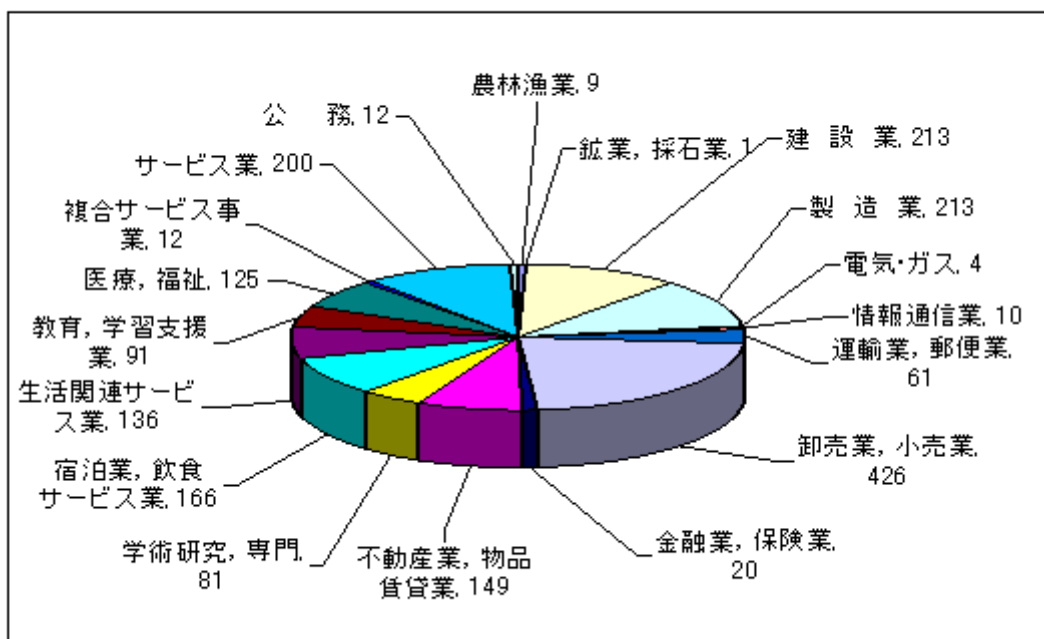
資料：平成17年国勢調査より

**近年、昼間人口・夜間人口が増加している。**  
**また、自宅や市内での従業が減少していることから、家内・市内商工業での雇用が減少していると思われる。**  
**世界的不況の煽りによる廃業や倒産、リストラ等によるものと考えられる。**



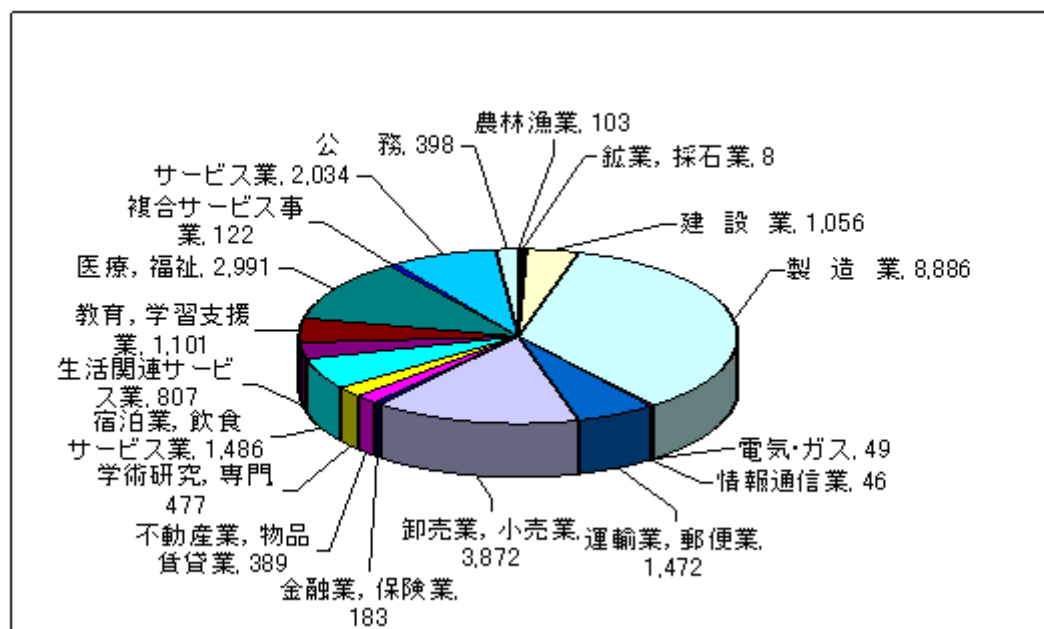
## 市内商工業者の事業所数および従業員数

### 事業所数の比率



資料：平成21年経済センサスより

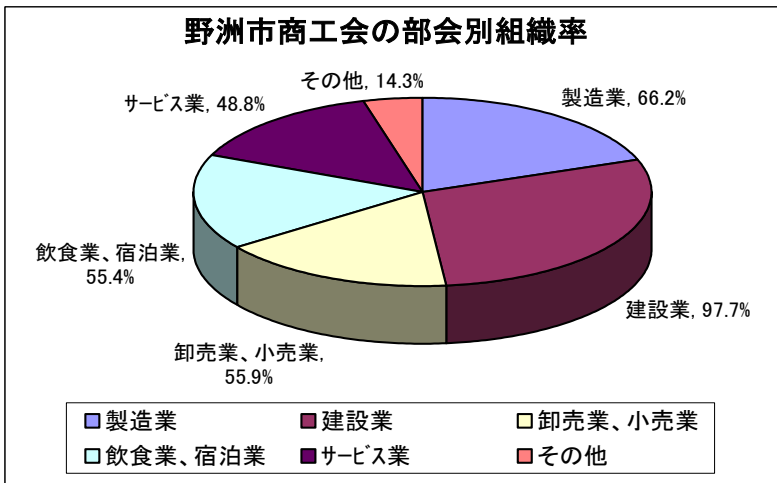
### 従業員数の比率



資料：平成21年経済センサスより

**卸売業、小売業、製造業、建設業、サービス業、不動産業が過半数を占める**  
 古くから継承されている、商店が比較的多く存在している。  
 ⇒不動産業が全体の約1割を占めることから、JR東海道線の利便性がよい立地条件を活かしたビジネスが展開されていると思われる。

# 市内商工会事業所の推移



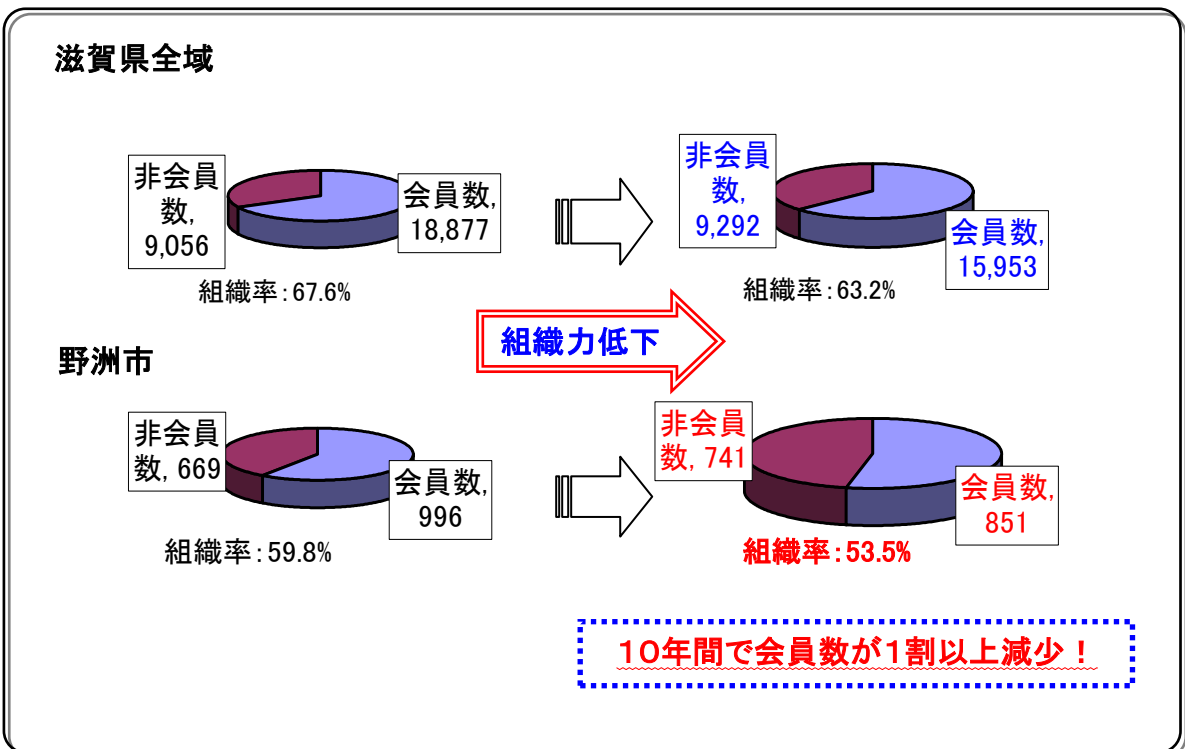
	商工業者数	加入数	組織率
製造業	204	135	66.2%
建設業	220	215	97.7%
卸売業 小売業	413	231	55.9%
飲食業 宿泊業	157	87	55.4%
サービス業	283	138	48.8%
その他	315	45	14.3%
計	1,592	851	<b>53.5%</b>

**・滋賀県の商工会会員数の推移 ※1**  
 平成12年4月： 18,877人（組織率67.6%）  
 ⇒ 平成22年4月： 15,953人（組織率63.2%） ▲2,924人

**・野洲市の商工会会員数の推移 ※1**  
 平成12年4月： 996人（組織率59.8%）  
 （野洲698人／55.3% 中主298人／74.1%）※2  
 ⇒ 平成22年4月： 851人（組織率53.5%） ▲145人

※1 滋賀県商工会連合会「商工会五十年のあゆみ」より

※2 平成12年4月数値は両商工会数値を按分（平成21年4月、合併により野洲市商工会が発足）



一般的な見解では・・・周りの影響による問題！！

滋賀県においても商工会会員数は減少しているが、野洲市商工会会員数は、直近10年間で、1割以上も減少している。

原因としては、商店、企業数等の減少という構造的な要因が考えられるが、世界規模の金融危機を発端とした、経済の混乱等から景気の悪化が著しく、そのあおりを受けた商店や企業等の廃業、統合等が大きな原因である。

実際には・・・組織内での問題??

- ・商工会会費が高く、会員であるメリットがない・・・
- ・会員が「お付き合いで加入している」「先代から加入していたから」・・・

**マイナスイメージ**

以前は、商工会に加入していること自体がステータスであった。

昔は、がんばればモノが売れた時代であった

若い商業者が、街のために何かするところまでは、労力がまわらない。

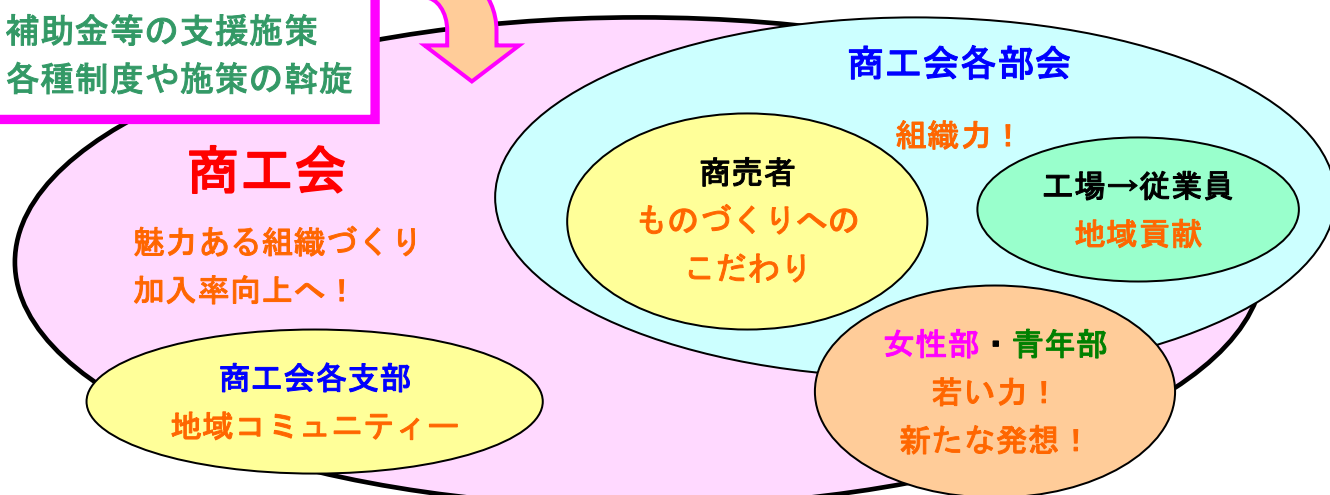
新しいことに対してリスクを背負うことができない状態。

これ以上何すればいいのか？何かをするには資金が必要。

本市の商工業があるべき姿・・・商工会に期待するもの（イメージ）

行政がサポート

- ・補助金等の支援施策
- ・各種制度や施策の斡旋



～野洲の商工業の活性化とまちの賑わいづくり～

市民・市外からの来訪者へおもてなしの心

## 9-2. 商工業指針策定のキーワード

### ～野洲の商工業の活性化とまちの賑わいづくり～

☆重要性・必要性・緊急性など優先順位を考慮した現状分析

☆おおむね3年～5年で実行できる課題設定

指針を策定するにあたっては、着地点（ゴール）を見据えて、“やすのまち”が従来型の地域商工業を衰退させることなく、地域の特性や課題を把握し、商工業活性化の方向性を示すことが大切である。

効果的に支援策を推進することが重要であり、そのための即効性のある指針づくりが求められている。

## 9-3. 「やす」のイメージ（意識調査結果）

### 9-3-1. 商工業意識調査報告（一般市民対象・ヒアリング調査）

アンケート等による「ありきたりの内容」で調査は行わず、各施設やイベント会場にて、直接、ヒアリング調査を行うことで、市民の本音や思い入れを聞き出した。

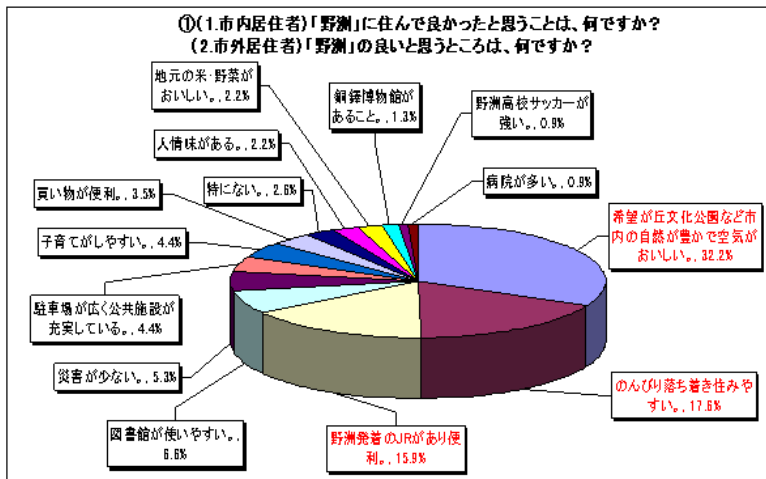
調査日	調査場所	サンプル数	
平成23年 2月 4日	食育ツアー	6	4%
平成23年 2月 6日	野洲図書館	85	55%
平成23年 2月 7日	野洲図書館		
平成23年 2月 13日	てんこもり市(銅鐸博物館)	49	32%
平成23年 2月 14日	市民サービスセンター	14	9%
	サンプル数合計	154	100%

性別	男性	54	35%
	女性	100	65%
	サンプル数合計	154	100%

居住区域	市内	125	81%
	市外	29	19%
	サンプル数合計	154	100%

- ① (1. 市内居住者)「野洲」に住んで良かったと思うことは、何ですか？  
 (2. 市外居住者)「野洲」の良いと思うところは、何ですか？

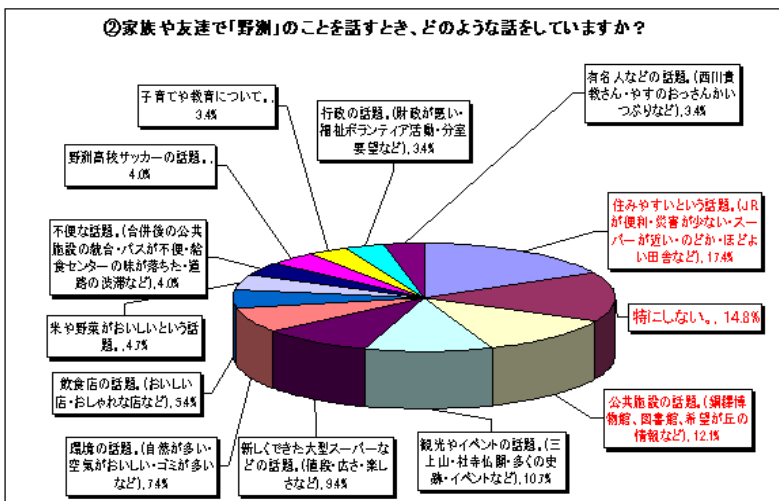
1. 希望が丘文化公園など市内の自然が豊かで空気がおいしい。	73	32.2%
2. のんびり落ち着き住みやすい。	40	17.6%
3. 野洲発着のJRがあり便利。	36	15.9%
その他 (4. ~14. までの意見)	78	34.3%



**<結果>**  
 「自然が豊か」「住みやすい」「利便性がある」という意見が多かった。

- ②家族や友達で、「野洲」のことを話す時、どのようなことを話していますか？

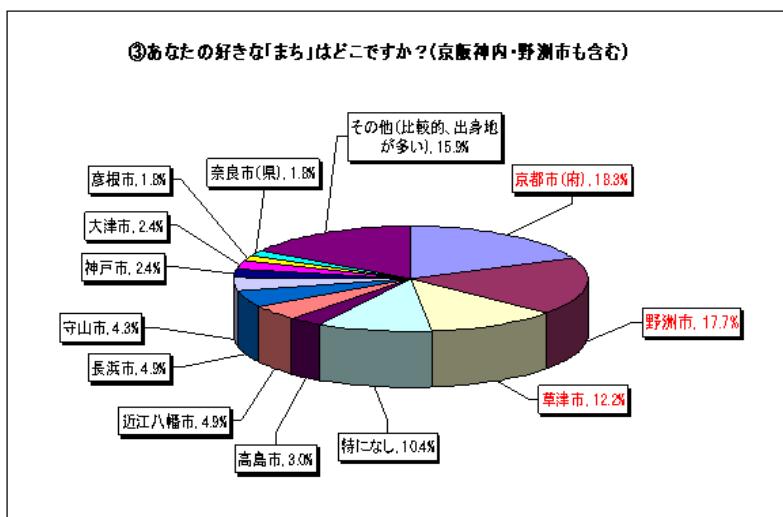
1. 住みやすいという話題。 (JRが便利・災害が少ない・スーパーが近い・のどか・ほどよい田舎など)	26	17.4%
2. 特にしない。	22	14.8%
3. 公共施設の話題。(銅鐸博物館、図書館、希望が丘の情報など)	18	12.1%
その他 (4. ~13. までの意見)	83	55.7%



**<結果>**  
 「住みやすいという話題」という意見が最も多かった一方で、「特に無い」という意見も多かった。

③あなたの好きな「まち」はどこですか。(京阪神内・野洲市も含む)

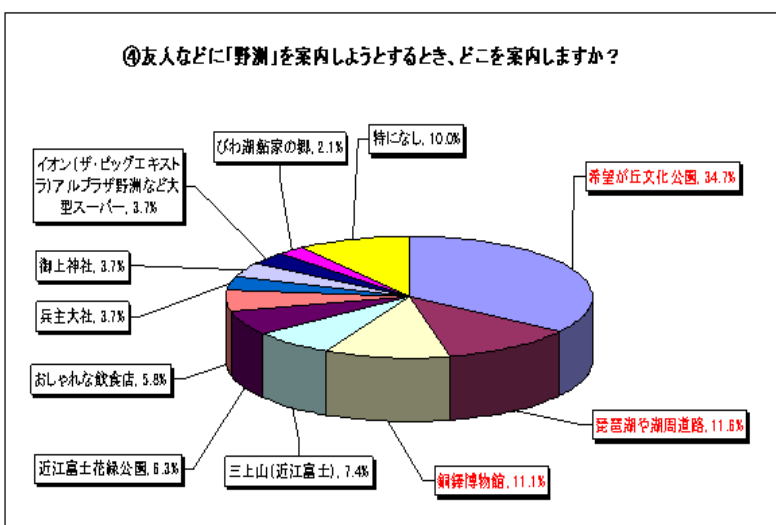
1. 京都市（府）	30	18.3%
2. 野洲市	29	17.7%
3. 草津市	20	12.2%
その他（4.～13.までの意見）	85	51.8%



**<結果>**  
 「京都市（府）」に続き、地元である「野洲市」が多かった。

④友人などに「野洲」を案内しようとするとき、どこを案内しますか？

1. 希望が丘文化公園	66	34.7%
2. 琵琶湖や湖周道路	22	11.6%
3. 銅鐸博物館	21	11.1%
その他（4.～11.までの意見）	81	42.6%

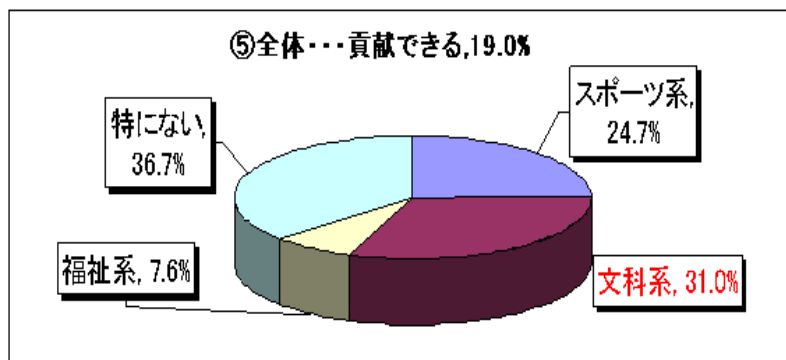


**<結果>**  
 「希望が丘文化公園」、「琵琶湖や湖周道路」など、野洲市の「自然」に関わる場所の意見が多かった。次に、野洲市の「歴史」を象徴する、「銅鐸博物館」の意見が多かった。

⑤現在、あなたは、何か趣味に打ち込んでおられますか？

あれば、その趣味を、まちづくりのために、貢献したいという思いはありますか？

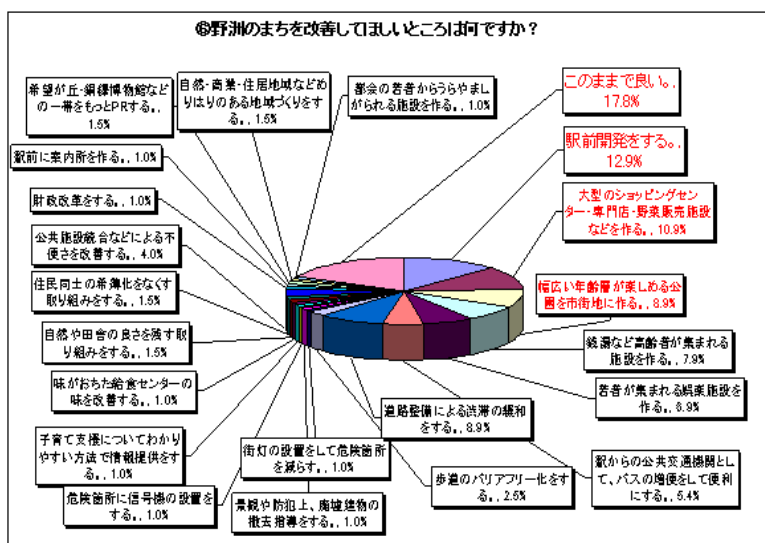
1. 文科系	49	31.0%
2. スポーツ系	39	24.7%
3. 福祉系	12	7.6%
4. 特にない	58	36.7%



**<結果>**  
 「文化系」「スポーツ系」の趣味が多かった。野洲市においては、それらの市民団体が数多く存在し、それぞれが活発に活動している。

⑥野洲のまちを改善してほしいところはどこですか？

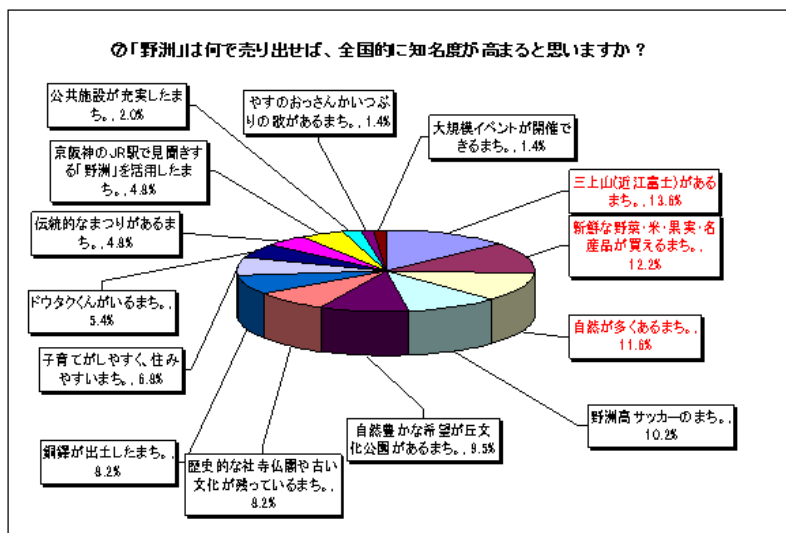
1. 駅前開発をする。	66	34.7%
2. 大型のショッピングセンター・専門店・野菜販売施設などを作る。	22	11.6%
3. 幅広い年齢層が楽しめる公園を市街地に作る。	21	11.1%
その他 (4. ~19. までの意見)	81	42.6%
うち「このままでいい」	81	42.6%



**<結果>**  
 「このままでいい」という意見が最も多かった一方で、「駅前開発をする」という意見が多かった。

⑦「野洲」は何で売り出せば、全国的に知名度が高まると思いますか？

1. 三上山(近江富士)があるまち。	66	13.6%
2. 新鮮な野菜・米・果実・名産品が買えるまち。	22	12.2%
3. 自然が多くあるまち。	21	11.6%
その他(4.～14.までの意見)	92	62.6%



**<結果>**

野洲市の「三上山(近江富士)」などの「自然」、「新鮮な野菜・米・果実・名産品が買える」という意見が多かった。

**<総合的な結果>**

**☆まちの特性**

自然豊かな地域というイメージが強く、他市の友人等に紹介する施設として、「希望が丘文化公園」がもっとも多い。(日本一大きい湖である「びわ湖」や、「三上山(近江富士)」はがあるものの、全体の1割程度となっている)

**☆まちの改善**

「自然が豊か」「住みやすい」というまちのイメージのためか、「このままでいい」という意見が最も多い。(ただし、駅前に関しては、開発を求めている)



## 9-3-2. 商工業意識調査報告（野洲市役所職員全員対象）

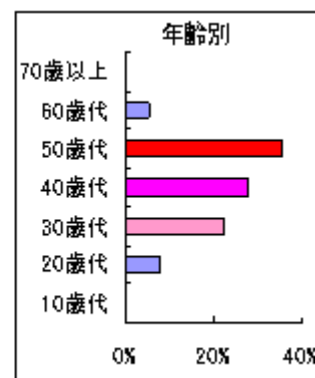
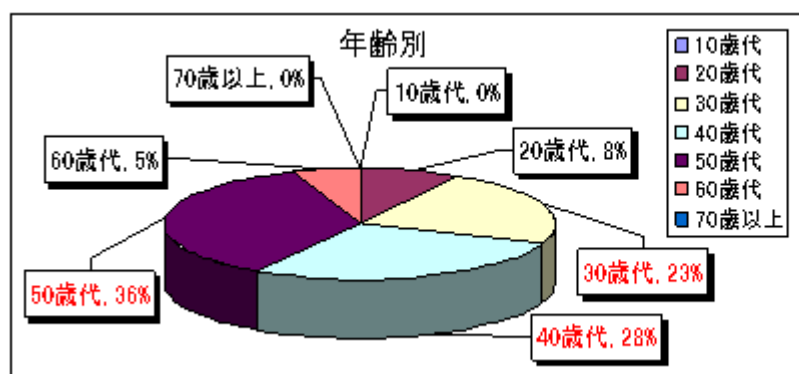
市民対象のヒアリング調査と同等の内容を、野洲市役所職員（嘱託・臨時除く）対象で意識調査を行い、行政の立場での意見や思い入れを、「択一性ではなく、記載式」で回答を求めた。

また、市民の思い入れと、行政職員としての思い入れの違いや温度差を比較するために行った調査である。

調査日	調査場所	サンプル数	
～平成23年2月28日	市職員全体（嘱託・臨時除く）対象:417名	146	35%
	サンプル数合計	146	35%

性別			
性別	男性	83	57%
	女性	63	43%
	サンプル数合計	146	100%

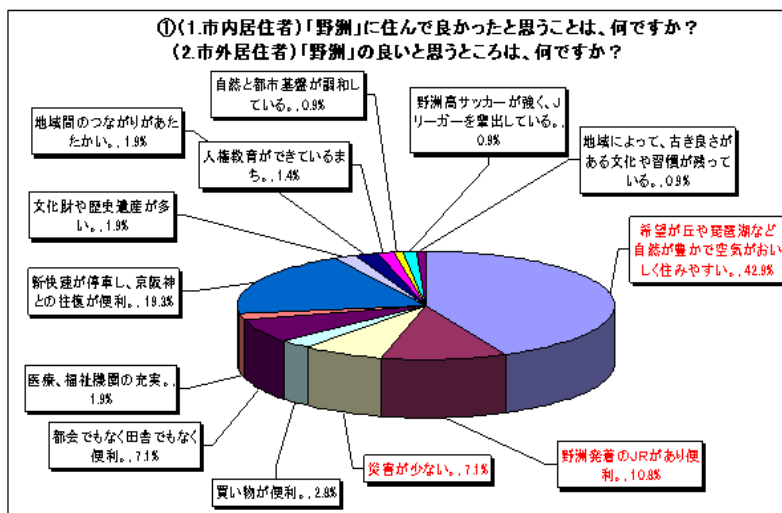
年齢区分			
年齢区分	10歳代	0	0%
	20歳代	12	8%
	30歳代	33	23%
	40歳代	41	28%
	50歳代	52	36%
	60歳代	8	5%
	70歳以上	0	0%
	サンプル数合計	146	100%



居住区域			
居住区域	市内	87	60%
	市外	59	40%
	サンプル数合計	146	100%

- ① (1. 市内居住者)「野洲」に住んで良かったと思うことは、何ですか？  
 (2. 市外居住者)「野洲」の良いと思うところは、何ですか？

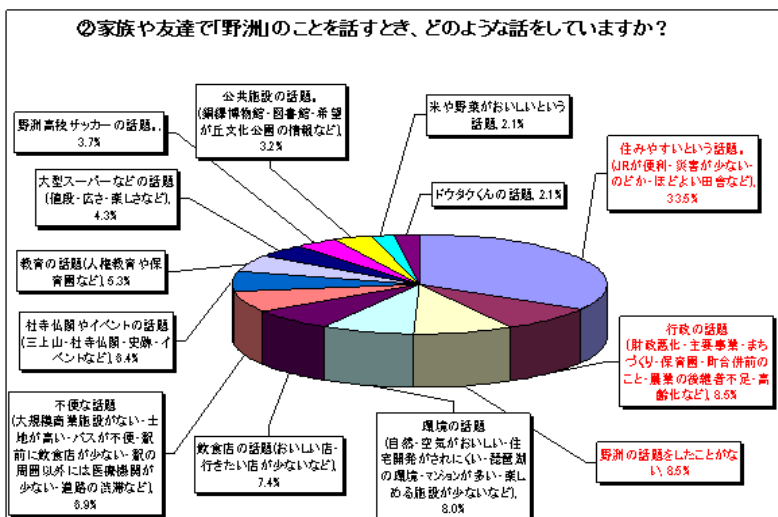
1. 希望が丘文化公園など市内の自然が豊かで空気がおいしい。	73	32.2%
2. のんびり落ち着き住みやすい。	40	17.6%
3. 野洲発着の JR があり便利。	36	15.9%
その他 (4. ~14. までの意見)	78	34.3%



**<結果>**  
 一般市民対象の結果と同様に、「自然が豊か」「住みやすい」「利便性がある」という意見が多かった。

②家族や友達で、「野洲」のことを話す時、どのようなことを話していますか？

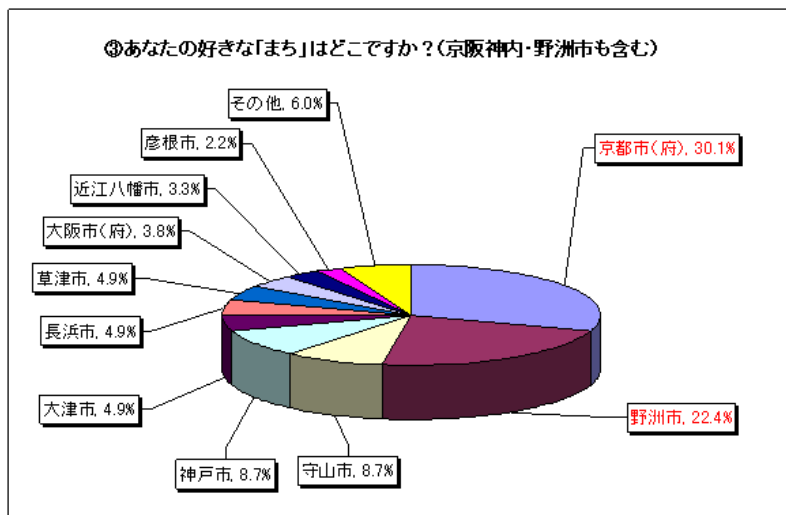
住みやすいという話題。(JRが便利・災害が少ない・のどか・ほどよい田舎など)	63	33.5%
行政の話題(財政悪化・主要事業・まちづくり・保育園・町合併前のこと・農業の後継者不足・高齢化など)	16	8.5%
野洲の話題をしたことがない	16	8.5%
その他 (4. ~13. までの意見)	93	49.5%



**<結果>**  
 一般市民の調査結果と同様に、「住みやすいという話題」の回答が、圧倒的に多かった。

③あなたの好きな「まち」はどこですか。(京阪神内・野洲市も含む)

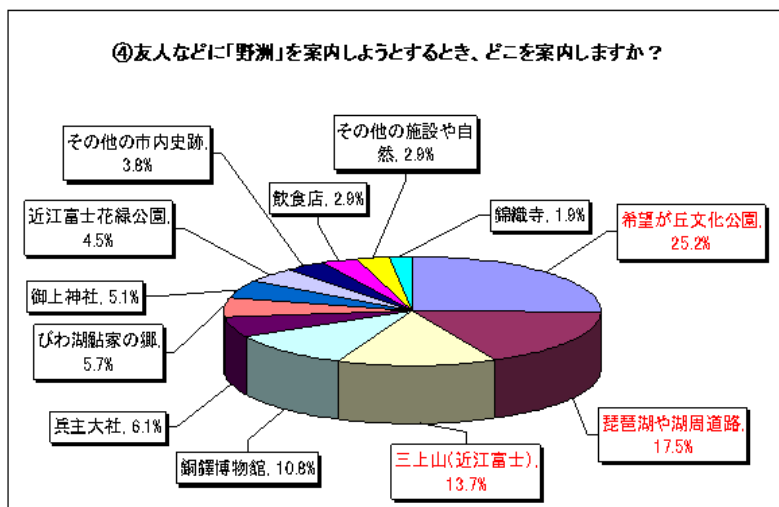
1. 京都市（府）	55	30.1%
2. 野洲市	41	22.4%
3. 守山市	16	8.7%
その他（4.～13.までの意見）	71	38.8%



**<結果>**  
 一般市民の調査結果と同様に、「京都市（府）」の回答が最も多く、次いで「野洲市」が多かった。

④友人などに「野洲」を案内しようとするとき、どこを案内しますか？

1. 希望が丘文化公園	66	34.7%
2. 琵琶湖や湖周道路	22	11.6%
3. 三上山（近江富士）	21	11.1%
その他（4.～11.までの意見）	81	42.6%

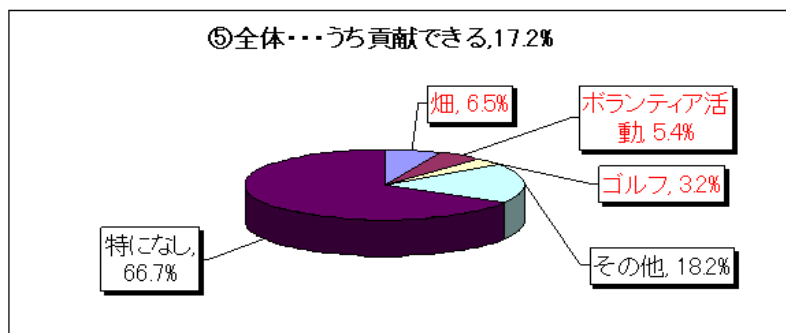


**<結果>**  
 「希望が丘文化公園」の回答が圧倒的に多かった。その他、「琵琶湖や湖周道路」、「三上山（近江富士）」の回答が多かった。  
 一般市民の調査結果と同様に、野洲市の「自然」に関わる場所を挙げる意見が多かったと言える。

⑤現在、あなたは、何か趣味に打ち込んでおられますか？

あれば、その趣味を、まちづくりのために、貢献したいという思いはありますか？

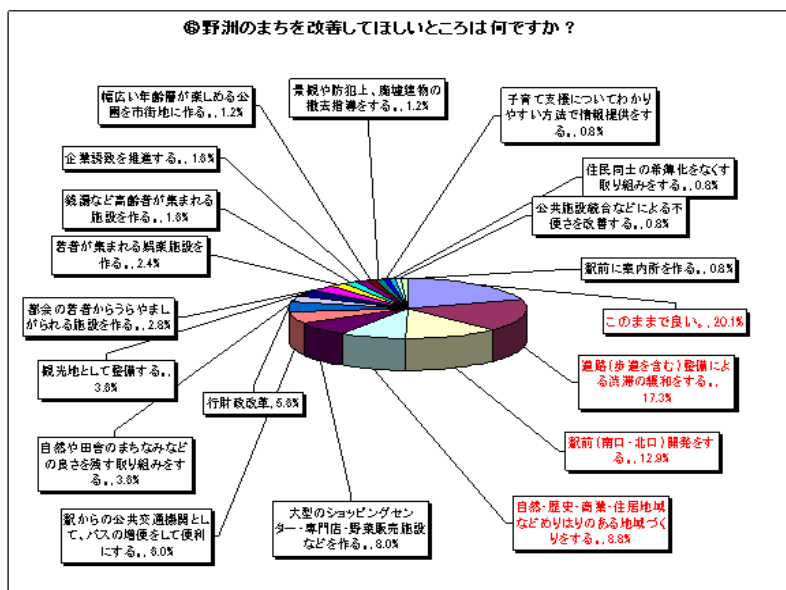
1. 畑	49	31.0%
2. ボランティア活動	39	24.7%
3. ゴルフ	12	7.6%
その他 (4. ~14.)	58	36.7%
4. 特になし	62	66.7%



**<結果>**  
 「畑」、「ボランティア活動」との回答が多かった。何か趣味に打ち込まず、「特になし」という回答が半数を占める。

⑥野洲のまちを改善してほしいところは何ですか？

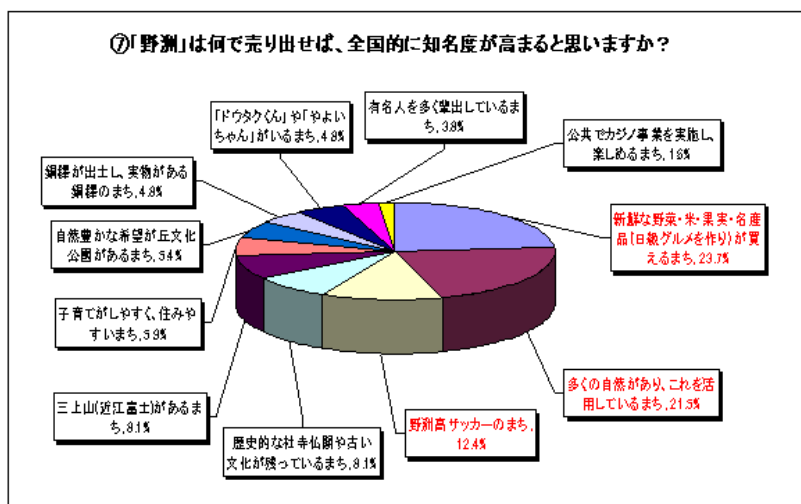
1. 道路（歩道を含む）整備による渋滞の緩和をする。	66	34.7%
2. 駅前（南口・北口）開発をする。	22	11.6%
3. 自然・歴史・商業・住居地域などめりはりのある地域づくりをする。	21	11.1%
その他 (4. ~19. までの意見)	81	42.6%
うち「このままでいい」	81	42.6%



**<結果>**  
 一般市民対象の調査結果と同様に、「このままでいい」という回答が最も多かった。一方で、一般市民対象の調査結果とは異なり、「道路（歩道を含む）整備による渋滞の緩和をする。」という回答も多かった。

⑦「野洲」は何で売り出せば、全国的に知名度が高まると思いますか？

1. 新鮮な野菜・米・果実・名産品（B級グルメを作り）が買えるまち	66	13.6%
2. 多くの自然があり、これを活用しているまち	22	12.2%
3. 野洲高サッカーのまち	21	11.6%
その他（4.～14.までの意見）	92	62.6%



<結果>

一般市民対象の調査結果と同様に、野洲市の「三上山（近江富士）」などの「自然」、「新鮮な野菜・米・果実・名産品が買える」という意見が多かった。

<総合的な結果>

☆まちの特性

自然豊かな地域というイメージが強く、他市の友人等に紹介する施設として、「希望が丘文化公園」がもっとも多い。（日本一大きい湖である「びわ湖」や、「三上山（近江富士）」はがあるものの、全体の1割程度となっている）

☆まちの改善

「自然が豊か」「住みやすい」というまちのイメージのためか、「このままでいい」と言う意見が最も多い。（ただし、「道路（歩道を含む）整備による渋滞の緩和」を求めている）

### 9-3-3. 意識調査による「やす」のイメージ（調査結果）

#### （１）自然、土地柄のよいまち

市内には、希望が丘文化公園を代表とした自然豊かな施設や、田園風景から見える三上山（近江富士）や琵琶湖等、ほどよい田舎で、のんびり住みやすい環境である。

#### （２）ＪＲ琵琶湖線の利便性がよいまち

ＪＲ琵琶湖線の始発終着駅としても有名で、京阪神からのアクセスが非常によいため、主に通勤・通学者の利用が多い。（まちがベッドタウンとしての位置づけである）

#### （３）社寺仏閣、文化・史跡・歴史遺産が残るまち

日本一大きな銅鐸が出土したまちでもあり、史跡・歴史遺産が多く残っている。また、国の指定文化財に指定されている社寺仏閣も多く、伝統文化も継承されている。

#### （４）まちの発展には消極的で、現状のままだよい

上記（１）（２）（３）に挙げられているとおり、自然、歴史、文化遺産が多く残るまちである一方、京阪神へのアクセスが良いため、生活するうえではこのままで良い。

#### （５）安心、安全の農水産物が豊富なまち

駅前中心とした商業地域のほか、農作物収穫が盛んな地域があり、大型量販店には無い、安心、安全で新鮮な農水産物が購入できる。

## 9-3-4. 委員会委員へのヒアリング調査

委員という立場ではあるが、各組織の代表（構成委員参照）でもあることから、常日頃、抱えている問題、課題、提言などを余すところなく意見を出していただくことからスタート！

この指針策定に係る調査、検討のために置かれた「作業会」により、各ジャンル（①産業、②生活、③文化交流、④観光、⑤環境、⑥交通）から、「択一性ではなく、対話式でヒアリングを行った。」

### 《ヒアリング日程》

日 時※	場 所	対 象	司会進行	記 録
1/31(月) 13:30～	本館 2 階相談室	松沢委員	白井芳	白井宏
2/ 2(水) 13:30～	ド リ ー ム	鈴木委員	土川	白井宏
2/ 2(水) 15:30～	別館 1 階会議室	前田委員	白井芳	土川
2/ 4(金) 10:00～	会 社	奥野委員	白井芳	西田
2/ 7(月) 10:00～	会 社	坂口委員	白井芳	土川
2/ 8(火) 09:00～	別館 1 階会議室	小島委員	土川	白井宏
2/ 9(水) 10:00～	会 社	中井委員	白井芳	西田

※年号は平成 23 年

### 《前提条件》

「野洲市の商工業を活性化させるための現状および問題点」をそれぞれの委員の立場からヒアリングするものである。

⇒各委員が所属する分野で意見しやすい分野をメインに聞き取りする。

**※今回の指針は、まちの商工業活性化について、決して商工業者だけに責任を求めるものではないこと。（市民・工業・行政との協働）**

### 《ヒアリング調査方法》

キーワード ～野洲の商業の活性化とまちの賑わいづくり～

☆重要性・必要性・緊急性など優先順位を考慮した現状分析

☆おおむね 3 年～ 5 年で実行できる課題設定

分類項目 **①産業、②生活、③文化交流、④観光、⑤環境、⑥交通**

- ①「**産 業**」とは、現状の商店や伝統工芸等を受け継ぐ店に感じる事。
- ②「**生 活**」とは、日常生活で感じる事。
- ③「**文化交流**」とは、市民活動等によるまちづくりやイベントに感じる事。
- ④「**観 光**」とは、市内の観光資源活用や市外と連携した広域観光振興で感じる事。
- ⑤「**環 境**」とは、野洲の環境について感じる事。
- ⑥「**交 通**」とは、野洲の道路や鉄道網で感じる事。

## 9-3-5. 委員会委員へのヒアリング調査結果集約

### ①「産業」・・・現状の商店や伝統工芸等を受け継ぐ店に感じること。

- 野洲市には、シンボリックなものがない。
- 地元産は、特になし（保護、助成のしようがない。）
- ものづくり経営交流センターをうまく活用する。
- 地元工場の製品がPRできる場所がない。
- 市内には、さまざまな用途に活用できる土地・建物がある。
- 昼間人口が少なく、駅前商店に賑わいが少ない。
- 買い物は大型店に行く人が多い。
- 市民が必要としているものを提供している店は、うまくいっている。
- 市民が必要としている商品を扱う商店が減っている。
- 市民に必要なものは、ほとんど大型店で全部まかなえる。
- 本当に必要なもののみ、地場産業として生き残っている。
- 伝統的なものは引き継いで行ってほしいと思うが、需要と人材不足で難しい。
- 野洲市には、伝統工芸を中心とした地場産業がない。
- 野洲の産業は、農業を中心とした産業ではない。
- 価格の安い店の進出によって、市内の集客が見込める。
- 市内に地産地消商品を販売する大型拠点施設がない。
- 野洲の名産がない。
- 安心、安全の地産商品がある。
- 野洲駅前に賑わいが感じられない。
- 市内の大手企業が設備投資をしても、市内業者との取引がない。
- 特化した専門的な商店は、廃業も多い。
- 高齢化により、商店の事業継承者が不足している。
- 全国的にも陶芸家に有名な、しのはら土が採掘されている。
- 近隣と比べて地価が安い。
- 駅前には、商業施設としての開発の可能性がある。
- 高齢者が多い地域への宅配サービスにより、ビジネスチャンスがある。
- 市民が地元企業や商店を知らない。
- 地元商店等を巡るツアーの実施により、市外への発信が出来ている。
- 景気の悪化により、来店者数が減少している。



## ②「生活」・・・日常生活で感じること。

- 買い物市場や購買力が市外へ出ている。
- 夜の商店に賑わいが無いため寂しい。
- 野洲は、都会に比べて、衣食住すべてに関して、環境が良い。
- 大型商品から生活用品まで、隣町に行かなくても市内で買い物が出来る。
- 野洲は福祉が充実している。
- マイカー生活者にとっては買い物等が便利である。
- 野洲は利便がよいので、開発に適している。
- 公園、緑地帯等の附帯施設が多く必要となるため大規模な開発をする業者がない。
- 駅前周辺の土地は、売買に有利である。
- 大型ディスカウント店は、他店に脅威を与えている。
- 田畑を所有していたり、琵琶湖で漁をするものは、地産地消で生活している。
- 物が豊かな時代になった。
- 分庁舎がなくなり、周辺の店の利用者が減った。
- 子育てしやすい環境である。
- 人口が微増のため、まちが活性化していない。

## ③「文化交流」・・・市民活動等によるまちづくりやイベントに感じること。

- 市民活動への活用のため、ふるさと納税のPR出来ていない。
- イベント等を開催するための多目的施設が少ない。
- 補助金を受けている団体は、活発な活動をしている。
- 小・中学生が琵琶湖沿いに野外活動ができる施設がない。
- 野洲の良さや消費者問題等について、寸劇などで啓発活動している団体がある。
- さまざまな目的をもって連携しているイベントが少ない。
- 市民活動に行政が連携することによって活動しやすくなっている。
- 市民レベルからの発想のイベントが少ない。
- 野洲出身の著名人が全国で活躍している。
- 自分の特技を市民活動に活かそうとする人が少ない。
- 人付き合いの機会が減り、クチコミ等の情報発信が少なくなった。

## ④「観光」・・・市内の観光資源活用や市外と連携した広域観光振興で感じること。

- 野洲は、山、川、湖があるので利用価値がある。
- 市民が誇りをもってPRできる名産品や特産品がない。
- 琵琶湖沿いのピワコマイアミランド周辺や三上山周辺に、通年集客出来る機能的な拠点施設がない。
- 琵琶湖沿いのピワコマイアミランド周辺には、キャンプや釣り人などの来訪者がある。

- 観光を活性化するために、さまざまな知恵を提案してもらえる団体がある。
- 観光資源が点在し、それぞれに魅力があるが線として結べていないため総合的な魅力が薄れている。
- 観光客は若者が少ないが家族づれや中高年者等、年間約140万人の来訪者がある。
- 野洲駅周辺の飲食情報のPRがない。
- 駅前の観光案内所が無くなり不便になった。
- 駅前の観光案内板が分かりにくい。
- 湖南地域観光振興協議会（草津・栗東・守山・野洲の4市）および、南びわ湖観光推進協議会（大津・甲賀・湖南+湖南4市の7市）において広域範囲で観光に産業をプラスした産業観光を実施している。
- 「野洲川花火大会」「野洲市夏まつり」の休止により賑わいがなくなった。
- 観光PRのため「ドウタクくん」と「やよいちゃん」がいる。
- 琵琶湖沿いには大型物産販売施設がある。
- 全国レベルのTVや雑誌に取り上げられることが少ない。
- 市民が市内で収穫された農水産物を知る機会が少ない。
- エコ遊覧船は情緒があってよい。

#### ⑤ 「環境」・・・野洲の環境について感じる事。

- 環境学習への来訪者が多い。
- 三上山、野洲川、琵琶湖など自然環境が良い。
- 現実の社会情勢と行政の法的整備のタイミングがあっていない。
- 自然環境がよく住みよいまちである
- ゴミ問題等について、親から子への伝承が出来ていない。
- 市内の河川にはゴミが多い。

#### ⑥ 「交通」・・・野洲の道路や鉄道網で感じる事。

- インフラ整備が出来ていない。
- JR野洲駅から守山市、湖南市方面の方が利用している。
- 渋滞緩和のための主要道路の整備が進んでいない。
- JRの野洲発着・野洲止めの普通電車や新快速、一部の特急が停車するので便利である。
- 路線バスの運行本数が少ない。
- 路線バスの利用者が少ない。
- 安心して走行出来る自転車道がない。
- 現状の社会情勢にあった道路整備が出来ていない。
- 高齢化社会に向けて交通弱者が安全、安心して利用できる交通システムの将来像が見えていない。

## 9-4. 野洲市の現状（SWOT分析）

### 9-4-1. 野洲市の現状把握

#### ☆定義

意識調査（市民・職員）および委員会委員ヒアリングからの意見結果を踏まえて、作業会において、SWOT分析を行い、“野洲市の素顔から現状を把握し、認めること”からスタートする。

#### 商工業者の現状

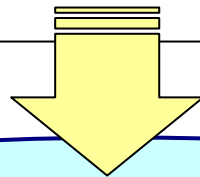
- 大型店の進出に伴い、小売店を利用する客が減少し売上が減少。（魅力が落ちている）
- 古くからの伝統的なものづくり商店はあるが、その技術を活かして、時代にあった商品の新規開発がない。
- 行政としての振興策（ビジョン）が無い中で、商業振興事業を支援してきた。
- 市民が市内商店の場所や内容、魅力を知らなくなった。

#### 行政の現状

- 近年の景気の低迷により、法人税等の税收確保が困難となり、財政悪化による予算の削減をせざるを得ない状況。
- 財政悪化の中、公共サービス等を充実させなければならいため、難しいかじ取りを迫られている。

#### まちの現状

- 主要道路が走り、JRなどの交通の利便性が良いうえ、近隣より地価が低い。
- 駅前を中心に高度利用の可能性はある。（例：現状パーキングから商業施設へ）
- 山・湖・水など自然環境に恵まれ季節に応じた多くの観光資源を有している。
- 福祉施策が充実している。（病院・診療所・薬局・さまざまな介護施設・介護システムが多い）



**戦略性を持ったビジョンを設定した上で、事業に関して「選択と集中」を実行することが必要！即効性、具体性のある計画を策定**

**「経営課題」今まで以上に企業の経営戦略を持つことが重要！！**

**市内に住む者みんなが、元気でいきいきできるまちづくり！！**

## SWOT分析とは？

組織のビジョンや戦略を企画立案する際に利用する現状を分析する手法の一つ。

SWOTは、Strength（強み）、Weakness（弱み）、Opportunity（機会）、Threat（脅威）の頭文字を取ったものである。

さまざまな要素を、S（強み）・W（弱み）・O（機会）・T（脅威）の四つに分類し、マトリクス表にまとめることにより、問題点が整理され、マトリクスに整理する過程で、関係者が意見を出し合いながら、問題意識を共有化できる点もメリットの一つである。

### （１）分野別SWOT分析

#### ①産業・・・現状の商店や伝統工芸等を受け継ぐ店に感じること。

(S)野洲市の強み (Strength)	(O)市外環境の有利な機会 (Opportunity)
ものづくり経営交流センターをうまく活用する。	価格の安い店の進出によって市内の集客が見込める。
市内には、さまざまな用途に活用できる、土地建物がある。	全国的にも陶芸家に有名な、しのはら土が採掘されている。
市民が必要としているものを提供している店は、うまくいっている。	近隣と比べて地価が安い。
市民が必要としている商品を扱う商店が減っている。	駅前には、商業施設としての開発の可能性がある。
本当に必要なもののみ、地場産業として生き残っている。	高齢者が多い地域への、宅配サービスによりビジネスチャンスがある。
安心、安全の地産商品がある。	地元商店等を巡るツアーの実施により、市外への発信が 出来ている。
(W)野洲市の弱み (Weakness)	(T)市外環境の不利な脅威 (Threat)
野洲市には、シンボリックなものがない。	
地元産は、特になし(保護、助成のしようがない。)	
地元工場の製品がPRできる場所がない	
昼間人口が少なく、駅前商店に賑わいが無い。	
買い物は大型店に行く人が多い。	
市民に必要なものは、ほとんど大型店で全部まかなえる。	
伝統的なものは、引き継いでほしいと思うが需要と人材育成で非常に難しい。	
野洲市には伝統工芸を中心とした地場産業がない。	
野洲の産業は農業を中心とした産業ではない。	
市内に大型な地産地消商品を販売する拠点施設がない。	
野洲の名産がない。	
野洲駅前に賑わいが感じられない。	
市内の大手企業が設備投資をしても、市内業者との取引がない。	
特化した専門的な商店は、廃業も多い。	
高齢化により、商店の事業継承者が不足している。	
市民が地元企業や商店を知らない。	
景気の悪化により、来店者数が減少している。	

②生活・・・日常生活で感じること。

(S)野洲市の強み (Strength)	(O)市外環境の有利な機会 (Opportunity)
野洲は、都会に比べて、衣食住すべてに関して、環境が良い。	野洲は利便がよいので、開発に適している。
大型商品から生活用品まで、隣町に行かなくても市内で買い物ができる。	駅前周辺の土地は、売買に有利である。
野洲は福祉が充実している。	子育てしやすい環境である。
マイカー生活者にとっては買い物等が便利である。	市民活動に行政が連携することによって活動しやすくなっている。
田畑を所有していたり、琵琶湖で漁をするものは、地産地消で生活している。	
(W)野洲市の弱み (Weakness)	(T)市外環境の不利な脅威 (Threat)
買い物市場や購買力が市外へ出ている。	公園、緑地帯等の附帯施設が多く必要となるため、大規模な開発をする業者がない。
夜の商店に賑わいが無いため寂しい。	
大型ディスカウント店は、他店に脅威を与えている。	
物が豊かな時代になった。	
分庁舎がなくなり、周辺の店の利用者が減った。	
人口が微増のため、まちが活性化していない。	

③文化交流・・・市民活動等によるまちづくりやイベントに感じること。

(S)野洲市の強み (Strength)	(O)市外環境の有利な機会 (Opportunity)
補助金を受けている団体は、活発な活動をしている。	市民活動に行政が連携することによって活動しやすくなっている。
野洲の良さや、消費者問題等について、寸劇などで啓発活動している団体がある。	野洲出身の著名人が全国で活躍している。
(W)野洲市の弱み (Weakness)	(T)市外環境の不利な脅威 (Threat)
市民活動への活用のため、ふるさと納税のPR出来ない。	
イベント等を開催するための多目的施設が少ない。	
小・中学生が琵琶湖沿いで野外活動ができる施設がない。	
さまざまな目的をもって連携しているイベントが少ない。	
市民レベルからの発想のイベントが少ない。	
自分の特技を市民活動に活かそうとする人が少ない。	
人付き合いの機会が減り、クチコミ等の情報発信が少なくなった。	

④観光・・・市内の観光資源活用や市外と連携した広域観光振興で感じること。

(S)野洲市の強み (Strength)	(O)市外環境の有利な機会 (Opportunity)
観光を活性化するために、さまざまな知恵を提案してもらえる団体がある。	野洲は、山、川、湖があるので利用価値がある。
	琵琶湖沿いのピワコマイアミランド周辺には、キャンプや釣り人などの来訪者がある。
	観光客は若者が少ないが家族づれや中高年者等、年間約140万人の来訪者がある。
	湖南地域観光振興協議会(草津・栗東・守山・野洲の4市)および、南びわ湖観光推進協議会(大津・甲賀・湖南+湖南4市の7市)において、広域範囲で観光に産業をプラスした産業観光を実施している。
	観光PRのため「ドウタクくん」と「やよいちゃん」がいる。
	琵琶湖沿いには大型物産販売施設がある。
	エコ遊覧船は情緒があってよい。
(W)野洲市の弱み (Weakness)	(T)市外環境の不利な脅威 (Threat)
市民が誇りをもってPRできる名産品や特産品がない。	
琵琶湖沿いのピワコマイアミランド周辺や三上山周辺に、通年集客出来る機能的な拠点施設がない。	
観光資源が点在し、それぞれに魅力があるが線として結べていないため総合的な魅力が薄れている。	
野洲駅周辺の飲食情報のPRがない。	
駅前の観光案内所が無くなり不便になった。	
駅前の観光案内板が分かりにくい。	
「野洲川花火大会」「野洲市夏まつり」の休止により賑わいがなくなった。	
全国レベルのTVや雑誌に取り上げられることが少ない。	
市民が市内で収穫された農水産物を知る機会が少ない。	

⑤環境・・・野洲の環境について感じること。

(S)野洲市の強み (Strength)	市外環境の有利な機会 (Opportunity)
三上山、野洲川、琵琶湖など自然環境が良い。	環境学習への来訪者が多い。
自然環境がよく住みよいまちである。	
野洲市の弱み (Weakness)	(T)市外環境の不利な脅威 (Threat)
現実の社会情勢と行政の法的整備のタイミングがあていない。	
ゴミ問題等について、親から子への伝承が出来ていない。	
市内の河川にはゴミが多い。	

⑥交通・・・野洲の道路や鉄道網で感じること。

(S)野洲市の強み (Strength)	市外環境の有利な機会 (Opportunity)
	JR野洲駅から守山市、湖南市方面の方が利用している。
	JRの野洲発着・野洲止めの普通電車や新快速、一部の特急が停車するので便利である。
野洲市の弱み (Weakness)	(T)市外環境の不利な脅威 (Threat)
インフラ整備が出来ていない。	
渋滞緩和のための主要道路の整備が進んでいない。	
路線バスの運行本数が少ない。	
路線バスの利用者が少ない。	
安心して走行出来る自転車道がない。	
現状の社会情勢にあった道路整備が出来ていない。	
高齢化社会に向けて交通弱者が安全、安心して利用できる交通システムの将来像が見えていない。	

(2) SWOT分析結果からみた現状

分類項目①～⑥（①産業、②生活、③文化交流、④観光、⑤環境、⑥交通）の各ジャンルから抽出された分析内容を組み合わせ、問題点を整理し、まとめることにより、本市の現状を把握する。

☆市内環境分野（強み・弱み）・・・「野洲市」で改善することができるもの

**野洲市の強み（S）**

- 本市の自慢できるものや、誇りとなるもので特徴を出していく。（三上山、琵琶湖等）
  - 皆が、住みたい、行ってみたいと思うようなもので感動を呼びおこし、野洲の魅力となるようにしていく。
- また、これらを商工業にどのように結びつけていくかが課題である。

- (1) 市内企業が取り組む人材育成や経営改善を支援する「ものづくり経営交流センター」がある。
- (2) 消費者ニーズに合った商品を製造販売する店があり、PRするツアーを実施している。
- (3) 安心、安全の地元産の農水産物や加工品が生産されている。
- (4) 都会に比べて、すべての「生活環境」がよい。
- (5) 三上山、琵琶湖など「自然環境」が良い場所が多い。
- (6) 福祉施策や各種支援制度等が充実している。
- (7) 環境活動に取り組んでいる。
- (8) 地域貢献している企業が多い。

## 野洲市の弱み（W）

- 本市は、滋賀県の真中にある町なので、近隣市等とうまく連携をして、住みやすい点を出していく。
  - 土地の有効利用をする必要がある。
- (1) 地元企業・商店が製品やノウハウ等をPRできる機会が少ない。
  - (2) 市内の企業・事業所間でのマッチング（仲介・相互連携）の機会が少ない。
  - (3) 市民活動がまちの賑わいづくりにつながっているものが少ない。
  - (4) 市民や商工業者が発想し、参加意欲が高まるイベントが少ない。
  - (5) 琵琶湖岸や三上山周辺に通年誘客できる機能的な仕組みが弱い。
  - (6) 来訪者への市民のおもてなし意識と受入体制（駐車場・看板・修景等）が弱い。
  - (7) 市内の観光や物産資源を知るための情報発信力が弱い。
  - (8) 市内の公共交通が不便である。
  - (9) 企業の負担を軽減する措置がない。
  - (10) 若者が集える店舗が少ない。
  - (11) 主要幹線道路の渋滞が激しい。

☆市外環境分野（機会・脅威）・・・「野洲市」だけで変えることが不可能なもの

## 市外環境の有利な機会（O）

- 「情報発信」が弱い。
  - 近隣市の資源と連携し、相手の良いところと結びつけて、野洲の弱みを野洲の強みに変えていく。
  - 誘客の企画力を、強みに転換できるものはどのようなものがあるか。
- (1) 広い駐車場を持った、価格の安い店の進出により周辺地域からの来客がある。
  - (2) 野洲は利便が良く、開発に適している。
  - (3) 買い物弱者を対象に、宅配サービスなどが行われている。
  - (4) 野洲には、年間約140万人の来訪者がある。
  - (5) JRの利便がよく、京阪神からの来訪者がある。
  - (6) イベント等を開催するための多目的施設がある。
  - (7) 企業が進出しやすい環境にある。
  - (8) 企業の社会貢献意識が高まっている。

## 市外環境の不利な脅威（T）

- 市外の大型店や専門店に行く人が多い事については、その大型店等をうまく利用していく。



- (1) 市外の大型店や専門店に行く人が多い。
- (2) 地元産の農水産物を販売する魅力的な大型販売施設がないため、買物客が流出している。
- (3) インターネット利用などにより消費が流出している。
- (4) 近隣および他市の資源等を有利に活用するための広域連携ができていない。

#### 9-4-2. キャッチフレーズ化による野洲のイメージ戦略

- ・ SWOT分析結果からみた現状を、キャッチフレーズ化する！
- ・ 現状が誰にとっても分かりやすく、印象に残るものにする！
- ・ イメージアップを図る！

お越しやす！ おいでやす！

YASU-TADE BRAND やったたでブランド

蓼食う虫も好き好き～蓼食う人はやす好き

～やっと出来たで「野洲の味」～

住みやすい 集まりやすい 過ごしやすい

**キャッチフレーズ化による  
野洲のイメージ戦略**

### 9-4-3. SWOT分析結果をキーワード化

#### ☆定義

- 覚えられる言葉で、分かりやすく刺激があるようにキーワード化する。
- 野洲の自慢できるものや、誇りとなるもので本市の特徴を出していく。
- キーワードを使って、本市についての情報発信をしていく。

市内環境	市外環境
<b>(S)野洲市の強み (Strength)</b>	<b>(O)市外環境の有利な機会 (Opportunity)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「安心、安全の地元農水産物」が食べられる</li> <li>●「自然」「眺望」「歴史」「利便性」がある</li> <li>●「住みやすいまち」である</li> <li>●「子育てのしやすいまち」である</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「利便性」があり、多くの来訪者・通勤者が来る</li> <li>●人口が増えており、「住みたいまち」としての開発が進んでいる</li> <li>●大きなイベントを開催できる大型施設がある</li> <li>●企業の社会貢献意識が高い</li> </ul>
<b>(W)野洲市の弱み (Weakness)</b>	<b>(T)市外環境の不利な脅威 (Threat)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業・商工業者・市民同士の交流の機会が少ない</li> <li>●来訪者に対する「おもてなし体制」が弱い</li> <li>●観光・物産資源などの情報を発信する力が弱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●周辺市町村へ、消費が流出している</li> <li>●周辺市町村との連携が不足している</li> <li>●魅力的な大型集客施設がない</li> </ul>

**積み上げてきた結果であり、現状を素直に受け止める!!**

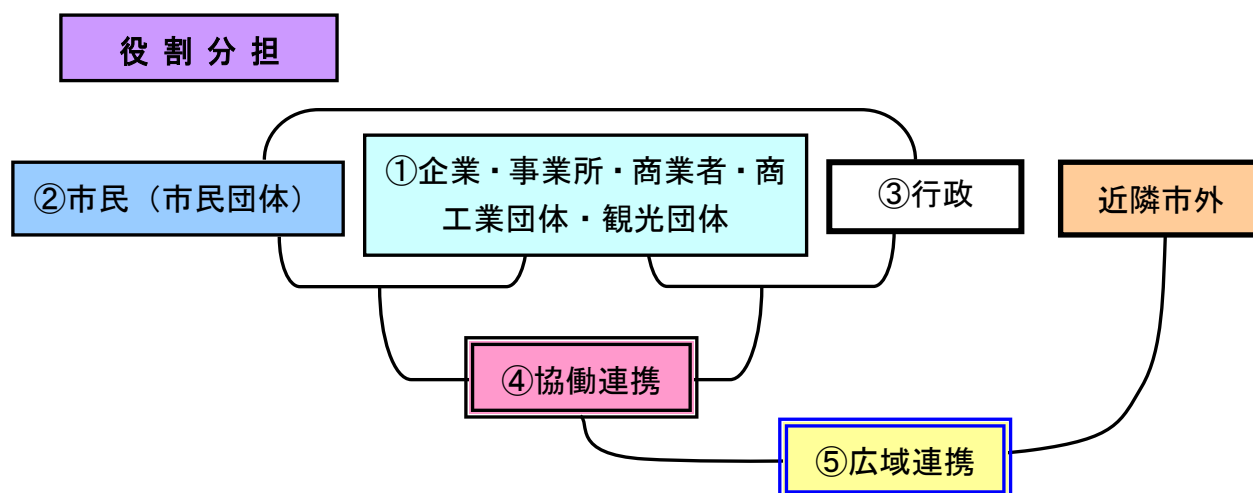
**「強み」を活かし、「弱み」を克服することで課題解決に繋げる!!**

### 9-4-4. 応用SWOT分析の手法（図1）

		市外環境分析	
		(O)市外環境の有利な機会 (Opportunity)	(T)市外環境の不利な脅威 (Threat)
①行政 ②企業・事業所・事業者 ③市民 ④協働連携(①～③が連携) ⑤広域連携(野洲市周辺)		(1) 広い駐車場を持った、価格の安い店の進出により周辺地域からの来客がある。(4) (2) 野洲は利便が良く、開発に適している。(4) (3) 買い物弱者を対象に、宅配サービスなどが行われている。(2・3) (4) 野洲には、年間約140万人の来訪者がある。(5) (5) JRの利便がよく、京阪神からの来訪者がある。(4) (6) イベント等を開催するための多目的施設がある。(4) (7) 企業が進出しやすい環境にある。(4) (8) 企業の社会貢献意識が高まっている。(4)	(1) 市外の大型店や専門店に行く人が多い。(2) (2) 地元産の農水産物を販売する魅力的な大型販売施設がなく買物客が流出している。(4) (3) インターネット利用などにより消費が流出している。(2) (4) 近隣および他市の資源等を有利に活用するための広域連携ができていない。(2)
	<b>(S)野洲市の強み(Strength)</b>	「強み」によって「機会・チャンス」を最大限に活用するために取り組むべきことは何か？ 野洲市にとっての「強み」に、「有利な機会・チャンス」を取り入れる内容を考える。 	「強み」によって「脅威」による悪影響を回避するために取り組むべきことは何か？ 市外からの「不利な脅威」でも、野洲市の「強み」を取り入れて「有利な機会・チャンス」にする内容を考える。 
市内環境分析	<b>(W)野洲市の弱み(Weakness)</b>	「弱み」によって「機会・チャンス」を逃さないために取り組むべきことは何か？ 「有利な機会・チャンス」があるので、野洲市の「弱み」を改善すれば効果があるような内容を考える。 	「弱み」と「脅威」により最悪の結果となることを回避するために取り組むべきことは何か？ 市外からの「不利な脅威」と野洲市の「弱み」により、一層悪化しないための内容を考える。 

## 9-4-5. 応用SWOTによる細分析

本市の商工業があるべき姿・・・広域的な連携に期待するもの（イメージ）



- A 本市の「強み」によって、市外環境の有利な「機会・チャンス」を最大限に活用するために取り組むべきことは何か？  
⇒本市にとっての「強み」に、「有利な機会・チャンス」を取り入れる内容を考える。
- B 本市の「強み」によって、市外環境の不利な「脅威」による悪影響を回避するために取り組むべきことは何か？  
⇒「有利な機会・チャンス」があるので、本市の「弱み」を改善すれば効果があるような内容を考える。
- C 本市の「弱み」によって市外環境の有利な「機会・チャンス」を逃さないために取り組むべきことは何か？  
⇒市外からの「不利な脅威」でも、本市の「強み」を取り入れて「有利な機会・チャンス」にする内容を考える。
- D 本市の「弱み」と市外環境の不利な「脅威」により最悪の結果となることを回避するために取り組むべきことは何か？  
⇒市外からの「不利な脅威」と本市の「弱み」により、一層悪化しないための内容を考える。

## 9-5. 野洲市の商工業振興対策や具体策（抽出結果）

### （1）全体的な課題と解決策

9-3においては、意識調査（市民・職員）および委員会委員ヒアリングからの意見結果を踏まえ、作業会において、SWOT分析および応用SWOT分析を行い、本市の現状把握を行った。

9-5では、「今必要なものは何か?」、「野洲市に何が求められているのか?」を前提に、「現実可能性」、「有効性」、「期待効果」を考慮した具体策を抽出する。抽出した具体策を実行することを通して、～野洲の商工業の活性化とまちの賑わいづくり～を実現していく。

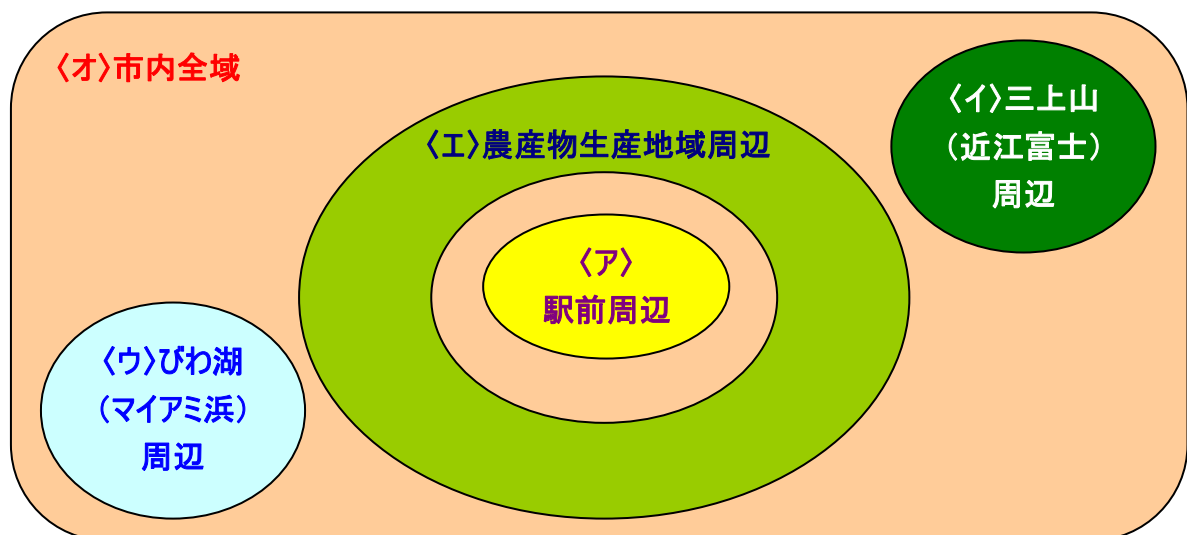
### （2）効果のある具体策の抽出

この指針は、野洲の商工業の活性化とまちの賑わいづくりのために、3年から5年ぐらいの間で実現でき、かつ効果のある実施計画として策定しなければならない。

そこで、より実現性が高く、具体的な施策（事業）を抽出するために、市内の地理を5つのゾーン（駅前周辺、三上山〔近江富士〕周辺、びわ湖〔マイアミ浜〕周辺、農産物生産地域周辺、市内全域）に分けた。

### （3）ゾーン別課題解決のための具体策

本市を分野別ゾーンに区分すると、大きく5つに分けることができる。



委員会および作業会において、今までの議論や調査を行った結果を踏まえ、各エリアの特性、中心となるアイテムを活かした具体策を、ワークショップ形式にて検討した結果は次のとおりである。

## ワークショップ検討結果

### <ア> 駅前周辺(15項目)・・・( )内は図1における(P53)SWOT項目

- (1)子育て世代向けの親子参加型の講習会を定期的に開催する(地域のつながり)  
(S6、O6)
- (2)隠れた特産品の発掘を行い販路拡大する  
(S2・3、O3・4・5)
- (3)駅周辺の買物客の確保のため、吉地、西河原地区、近江富士団地から野洲駅へのシャトルバスの運行(W8、O1・3)
- (4)お出迎え隊キャラバン等でのまちおこし  
(W3・6・7、O4・5)
- (5)中学生の商い体験や職場体験のできる場を提供  
(W1、O8)
- (6)野洲駅や市役所等の人が多く集まる場所での市内の工業製品の展示コーナーを設置  
(W1、O4・8)
- (7)商工業者の自社製品(商品)や取り組みをPRできる展示会を開催  
(W1・2・4、O2・4・5・6・7・8)
- (8)駅前のにぎわいのためにも、野洲発、野洲止めで待っている人に野洲の名産等を販売しPRする(W1・3・4・6・7、O4・5)
- (9)商店街CI事業  
(W1・2・4・6・7・10、O1・3・4・5)
- (10)近隣の学校(立命館大学等)のサークル(バンド、ダンス、芸術)等が自由に使える場所(駐車場等)を無料解放することで、市内商店等がにぎわう  
(W1・2・3・4・6・10、O1・4・5・6・8)
- (11)三上山周辺や琵琶湖周辺など集中的にレンタサイクルでまわれるようにする  
(W5・6・8・11、O4・5)
- (12)観光(商工業)案内所の復活  
(W1・3・4・5・6・7・8、O4・5・6)
- (13)みんなが儲ける・儲かるシステムを作り、持続性があり経済効果が出るイベントを考える  
(S1・2、T1・2・3)
- (14)すまいる市の拡大「おうみんち」のようなバイキングによる地産地消の促進  
(W7、O2・4)
- (15)大企業の駐車場等の土地を週末解放してもらえるような仕組みを検討する  
(W1・3・4、T1)

### <イ> 三上山(近江富士)周辺(3項目)・・・( )内はSWOT項目

- (1)希望が丘で大規模なコンサートを行う  
(S5、O5・6)
- (2)湖岸への県外利用者を三上山、中山道へ呼び込むコースの設定

(W5・7・8、O4・5)

- (3)近江富士団地での移動販売スーパーの導入、北桜、南桜の野菜の地産地消販売  
(W8、O3)

**<ウ>びわ湖(マイアミ浜)周辺(7項目)・・・( )内はSWOT項目**

- (1)農商工連携をし、湖魚を使った新商品の開発(ハスの開き・一夜干し・ピワマスの燻製など)  
(S3、O4)
- (2)琵琶湖の環境の話をしつくり聞きながら湖魚が食べられる施設を作る(S3・4・5、O4・5)
- (3)ピワマス等の地元食材による食事、民泊、農業体験のできる滞在型農業体験ツアーを実施する(S3・4・5・7、O4・5)
- (4)マイアミ(あやめ)浜にマリンスポーツの育成に力を入れる(S5、O4・5)
- (5)三上山周辺や琵琶湖周辺など集中的にレンタサイクルでまわれるようにする(W5・6・8・11、O4・5)
- (6)バス交通便を良くし、マイアミオートキャンプ場付近で、サーフィン、釣り等にぎわいがもつとあるようにする(W5・6・8・10、O4・5・6)
- (7)エコ遊覧の観光ルートにあるゴミを撤去し、いつもきれいにする(W6、O4・5)

**<エ>農産物生産地域周辺(3項目)・・・( )内はSWOT項目**

- (1)ピワマス等の地元食材による食事、民泊、農業体験のできる滞在型農業体験ツアーを実施する(S3・4・5・7、O4・5)
- (2)中学生の商い体験や職場体験のできる場を提供(W1、O8)
- (3)野洲米はおいしい米であることをPRする。また、親子で貸し農園や米作り体験が出来るようにし、農商工連携を図る(W1・2・3・4・7、O4・5)

**<オ>市内全域(27項目)・・・( )内はSWOT項目**

- (1)工場等事業所巡回見学ツアーの開催  
(S2、O5・O8)
- (2)新たに転入されてきた方向けの生活施設マップを作成・配布する  
(W7、O2)
- (3)クチコミ力のあるリーダー(情報屋)の育成  
(W3・7、O4・5)
- (4)市民、商工業者に広くイベントのアイデアを募集し評価、実施する  
(W1・3・4・7、O8)
- (5)市内の経済指標を広報に掲載(成長率、従業員数、業種別売上高、失業率など)し、野洲を全員で盛り上げていこうという意識を養う(W2、O7・8)
- (6)教師に限らず、義務教育中の子どもたちに、市職員、商工業者が自らの取り組みについて語ったり、仕事を体験したりできる授業を行うことにより、「野洲で働きたい。野洲に貢献したい。」という郷土愛のある人材を育成する(W1・2・3・4・7、O8)
- (7)ワンコインメニュー(500円)のランチ等を市内のどこの店に行っても食べられる仕組みを作る

- (ネーミング案:やすっ!)(W1・5・6・7・10、O1・4・5)
- (8)野洲高校サッカー支援、サポーター会の設置を行い、サッカーの拠点を作る  
(W3・4・7・10、O4・5・6)
- (9)放棄農地を集約し、農業生産の向上もしくは非農地への転用を行う  
(W9、O2・7)
- (10)車を活用した、広域移動で楽しめるまちづくりを進める  
(W4・5・6・8、O2・4)
- (11)歴史が残る地域に看板、トイレ、休憩所、駐車場、物産販売所などを集中的に整備していく(W5・6・7、O2・4・5・6)
- (12)野洲ブランド製品、商品の開発・販売  
(W1、O4・5・7・8)
- (13)製品の部品の製作過程を見学してもらい、工業製品(完成品)の直販売  
(W1・4、O8)
- (14)クレジットカード決済機能のあるポイントカードの導入  
(W2、O1・4・5)
- (15)市主催の企業見学ツアーを開催する  
(W1・2・3・4、O8)
- (16)「野洲についてもっと知ろう」勉強会、意見交換会を定期的で開催する  
(W1・2・3・4・7・10、O6・8)
- (17)売れるものを作り、その喜びと経済効果により、頑張ろう!という意識の高揚に努める  
(W1・5・6・7、O7・8)
- (18)旅行社等とのタイアップにより団体客の受け入れ体制を作る  
(W6・7・8・10、O4・5)
- (19)市内商店の通販WEBサイトの構築およびWEBによる卸通販(直売)による販路拡大  
(W1・2・7・10、O3・7)
- (20)大型店舗での価格競争ではなく、アフターサービス(購入商品以外でのサービスを含む)を売りにする(W2、O8)
- (21)ザ・ビッグなどの大型店へ地産地消のいろんな商品を共同で出し、市内名産コーナーを増やす(W1・2・7、O1・3・4・5・8)
- (22)付加価値をつけ、高価格で販売できるような安心・安全の野菜作りと、これをPRするイベントを開催する(W1・W7、O2・3)
- (23)夜の明かりを増やし、景観を良くする  
(W3・W6、O4・5)
- (24)「野洲川花火大会」「夏祭り」を復活させる  
(W3・W4、O4・5・6、)
- (25)道路整備・8号線バイパス、サイクルロードを整備する  
(W5・W6・W8、O2・4)
- (26)後継者の育成  
(W9、O7・8)



(27)他市にあり市内にないモノ(施設、店舗)と競合したりマネしたりするのではなく、広域連携協定を結び、市内のモノと化する(W1・9、T1・2・3・4)

#### (4) 各ゾーン分野別の具体策の抽出(絞り込み作業)

(3)に挙げた、ゾーン別課題解決のための具体策(<ア>~<オ>・全55項目)はどれも、「野洲の商工業の活性化とまちの賑わいづくり」に繋がる具体策である。

次に、(3)で挙げた具体策を、「3~5年での現実可能性」、「有効性」、「期待効果」の3つ基準によって10項目に絞り込んだ。その際に、“今の野洲市の商工業にとって最優先すべき具体策は何か? ”、“だれが・どのようにして解決すればいいか?”の2つのテーマについても、各々の意見を出し合った。

☆調査対象者 委員会委員(9名)および作業会(5名)

#### ★選定基準 ★点数(5点法)評価

#### キーワード ~野洲の商工業の活性化とまちの賑わいづくり~

- ・3~5年で実行できる内容(実現可能性)・・・①
- ・重要性・必要性・緊急性が考慮されている内容(有効性)・・・②
- ・上記を達成することによる効果(期待効果)・・・③

①実現可能性・・・技術的、財政的にも実行が可能か(5点)

②有効性・・・・・・設定した目標を達成するのにどれだけ有効であるか(5点)

③期待効果・・・・・・期待される効果(メリット)とデメリットとのバランス(5点)

## 各ゾーン分野別具体策の抽出（絞り込み）作業 集計結果

各ゾーン（＜ア＞～＜オ＞）から、（４）の条件を満たした具体的事業を抽出（絞り込み）した結果、下記   のとおりとなった。

**上段：委員会委員 9名中／9名分 集計／下段：作業会 5名中／5名分 集計**

ゾーン別	＜ア＞ 駅前地域	＜イ＞ 三上山地域	＜ウ＞ びわこ周辺	＜エ＞ 農業生産地域	＜オ＞ 市内全域
全項目	全15項目	全3項目	全7項目	全3項目	全27項目
<b>抽出数</b>	↓ <b>3項目</b>	↓ <b>1項目</b>	↓ <b>2項目</b>	↓ <b>1項目</b>	↓ <b>3項目</b>

＜ア＞駅前周辺・・・（ ）内はSWOT項目

抽出数・ 2項目 / 6項目中

選定基準：①実現可能性 ②有効性 ③期待効果

具体的に行う事業	選 択	点数評価①②③				だれが・どのようにして 解決すればいいか
		①	②	③	計	
(1)多目的ホールを活用して、市内業者で販路拡大のためのマッチング会を実施する(S2・3、O3・4・5)	5	16	18	16	50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政・商工業者・商工会・工業会。</li> <li>・ホールの建設。業者の募集など。</li> <li>・行政、商工会、工業会等で協議会を設立し、展示の入替え、展示会の開催などを行う。</li> <li>・常設展示は駅前である必要はないのでは？</li> <li>・そこへ行けば関係者にヒントがあるための仕組み、PRが必要。</li> </ul>
	3	12	9	10	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会と観光物産協会が連携し仕組みをつくる。</li> <li>・行政、商工会、農協等が連携して、会を開催する。</li> </ul>
(2)お出迎えキャラバン隊など話題性のある手法で集客し、にぎわいづくりを演出する(W3・6・7、O4・5)	3	10	12	12	34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動サークルに協力依頼する。</li> <li>・行政・企業・商店・市民団体が連携して、新しくキャラバン隊を結成してPRする。</li> </ul>
	2	7	7	7	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、商工会、各商店等が連携して、キャラバン隊でPRする。(持続性が課題)</li> <li>・行政・企業商店等・市民団体が連携し、「妓王妓女まちおこしキャラバン隊」でPRする。</li> </ul>
(3)買物弱者が駅前商業地域へ買物に行くためのシャトルバスを運行する(W8、O1・3)	0					
	0					
(4)商工業者の自社製品(商品)の常設展示や取り組みをPRできる展示会の開催 (W1・2・4、O2・4・5・6・7・8)  例：野洲郵便局(スペースあり) 市役所(滋賀銀行ATM跡) 各コミセン・・・ ==>(1)を含めて検討する。	8	25	26	25	76	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業会・商工会に協力依頼する。</li> <li>・行政・企業・商店・市民団体に、駅前に観光案内と商品の常設展示が出来る場所を作る。</li> <li>・行政・商工業者・雑用係が連携。</li> <li>・観光課・商工会が軸として、地元利用率を高めるための紹介窓口を設置。</li> <li>・商工業者への周知・募集など。</li> <li>・行政、商工会、工業会等で協議会を設立し、展示の入れ替え、展示会の開催などを行う。</li> <li>・常設展示は駅前である必要はないのでは？</li> <li>・そこへ行けば関係者にヒントがあるための仕組み、PRが必要。</li> </ul>
	4	14	13	13	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、企業、商店が連携し、随時、分庁舎等を活用し「やすのものづくりフェア」を開催。</li> <li>・商工会、工業会等 組織化。</li> <li>・行政・企業商店等が連携し、定期的に文化小劇場を借用し、「まち自慢フェア」を開催する。</li> </ul>
(5)野洲駅構内にある売店で野洲の物産品を販売してもらい、駅利用者にPRする (W1・3・4・6・7、O4・5)	1					<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造者・行政一体化。</li> </ul>
	1	3	3	4	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業、商店、市民団体が連携し「おいでやす直売コーナー」を設ける。</li> <li>・すまいる市の活用。</li> </ul>
(6)近隣の学校と連携し、活動しているサークル等が発表できる場(企業駐車場等借用)を提供し、にぎわいづくりに結び付ける	1	5	4	3	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政・学校サークル・土地所有者(企業)が連携。</li> </ul>
	0					

<イ>三上山（近江富士）周辺・・・（ ）内はSWOT項目

抽出数・1項目 / 3項目中

選定基準：①実現可能性 ②有効性 ③期待効果

具体的にいう事業	選 択	点数評価①②③				だれが・どのようにして解決すればいいか
		①	②	③	計	
(1)希望が丘で大規模なコンサートを行う (S5、O5・6)	1	3	5	5	13	・観光物産協会・企画会社・企業商店等が連携し、「イナズマロックフェス」を開催する。
(2)三上山(近江富士)周辺の来訪者を、びわ湖沿いに誘導したり湖岸の来訪者を三上山周辺や中山道へ誘導したりするコースの設定 (W5・7・8、O4・5)	7	24	26	23	64	・行政・市民団体で、山・湖それぞれに観光案内所を設ける。 ・行政・商工観光業者・観光物産協会・NPO・市民団体。 ・観光団体・行政・ガイドがマップを作り、イベントを行う。 ・現在よりもPRしていく。コース・回数も増やす。 ・3案の中では、実現性や効果は見込まれるが単なるコース設定だけでは有効に機能しない。
	3	9	11	9	29	・行政・商工業者が連携し、湖岸開発(株)により、市内縦断ルートを設定し定期的に南北シャトルバスを運行する。 ・行政、商工会が連携。 ・行政、観光物産協会、市民団体と連携してガイドマップ、案内表示等を整備。
(3)近江富士団地での移動販売スーパーの導入、北桜、南桜の野菜の地産地消販売(W8、O3)	0					
	0					

<ウ>びわ湖（マイアミ浜）周辺・・・（ ）内はSWOT項目

抽出数・2項目 / 5項目中

選定基準：①実現可能性 ②有効性 ③期待効果

具体的にいう事業	選 択	点数評価①②③				だれが・どのようにして解決すればいいか
		①	②	③	計	
(1)農商工連携をし、湖魚を使った新商品の開発・販売(ハスの開き・一夜干し・ピワマスの燻製など)(S3、O4) ====>(2)へ統合	1	4	4	4	12	・農商工・観光物産協会。
	3	11	9	10	30	・生産者、商店が連携して、生産、販売体制を構築する。行政、観光物産協会が連携して、PRを行い、市観光のブランドに育てる。 ・漁業組合・行政・企業商店等が連携し、「新商品プロジェクト」を設立する。
(2)地元漁師から、食材や環境の話聞きながらピワマス等の湖魚料理を食べられるようにする(S3・4・5、O4・5) ====>(1)を含めて検討する。	7	23	21	22	66	・漁師・レストランオーナーに補助金を支給し・養成する。 ・漁業団体・市民団体等と地元民宿で行えるよう、行政・観光業者がPRする。 ・農商工・観光物産協会。 ・行政・商工団体・バス会社が連携して、PRし、関係イベントを結びつける。 ・地元漁師。古くからの調理法伝授のための講習会を行う。 ・ピワマス料理は有効。 ・不要な仕組みや理屈はいらないのでは。
	4	16	15	15	46	・漁業組合、三セク、商店が連携し、オートキャンプ場や地元商店を利用し、インターネットを活用し、湖魚料理をPRし試食会を催す。 ・事業者に対する支援、PRを商工会、行政が行う。 ・生産者、行政、観光物産協会が連携して、PRを行い、市観光のブランドに育てる。 ・漁業組合・行政・企業商店等が連携し、「漁師うんちくの店」でおもてなしをする。

(3)マイアミ浜オートキャンプ場周辺でカヌーや釣り等のマリンスポーツが出来るようにし、にぎわいをつくる(S5、O4・5) ==>(5)へ統合	3	10	12	11	33	・施設アクセスの整備。広告・宣伝に注力。 ・行政・商工観光業者。 ・第3セクターの運営見直し。
	1	3	4	4	11	
(4)バス交通便を良くし、マイアミオートキャンプ場付近で、サーフィン、釣り等でのにぎわいがあるようにする(W5・6・8・10、O4・5・6)	2	6	8	7	21	・行政・商工観光業者。 ・第3セクターの運営見直し。
	0					
(5)観光や環境面で魅力があるエコ遊覧船を快適に運航していくため、周辺のゴミ清掃等を常実施する(W6、O4・5) ==>(3)を含めて検討する。(体験型のメニュー)	5	13	14	14	41	・最も重要なのは、川の浚渫。行政と市民団体に、県に依頼する。ゴミは市民団体が出来る。 ・行政・学校・市民団体が連携して、ボランティアイベントを実施し、PRしていく。 ・行政・ボランティア団体・呼びかけ。人の係わり合いを増やすチャンス作り。 ・エコ遊覧のリピーターを増やすことが大切。 ・魅力を感じるためには視覚が重要で、ゴミは不快。 ・地域が主体となること。
	2	8	8	8	24	・行政、環境保全団体等が連携し、家棟川沿線を主に「クリーンパトロール隊」を組織し不法投棄の監視を強化する。 ・市民が中心となった活動を推進する。 ・行政が仕組みを提供する。

<エ> 農産物生産地域周辺・・・ ( ) 内はSWOT項目

抽出数・ 1項目 / 3項目中

選定基準：①実現可能性 ②有効性 ③期待効果

具体的に行う事業	選択	点数評価①②③				だれが・どのようにして解決すればいいか
		①	②	③	計	
(1)日帰り農業体験や市内の宿泊施設を利用した、滞在型農業体験ツアーを実施する(S3・4・5・7、O4・5) ==>(3)を含めて検討する。 ==><ウ>とリンク	0					
	2	7	6	6	19	・農林漁業者、宿泊施設の連携、行政、観光物産協会のPR(農家民泊の方がベターか?) ・農業者・行政・観光物産協会が連携し、「とことん農業体験ツアー」を企画する。
(2)生産者が農産物の生産だけでなく、加工・販売まで行う第六次産業への意欲を高める(W1、O8)	3	8	10	10	28	・生産者・市民団体・商工者・専門家が連携を組み、取り組む。 ・市・商工会が中心となり、勉強会や設立委員会などを設けて活動する。 ・農業者の数や全体から見ると、有効性はどれも低いと思われるが、意欲ある関係者を推進、刺激するものとしては加工販売が必要。 ・加工、販売物の特定。 ・農業振興計画との調整が必要。
	1	2	4	5	11	
(3)野洲米はおいしい米をPRし、親子で貸し農園や米作り体験が出来るようにし、農商工連携を図る(W1・2・3・4・7、O4・5) ==>(1)へ統合	6	18	18	19	55	・休耕田を利用して、大阪・京都から来てもらえるような環境づくりをする。 ・ゆりかご水田協議会と商工業の連携を図り、行政が調整する。 ・個人、個人等に貸付け(年契約)。 ・農・商・行政・観光物産協会連携で、他府県の消費者を対象とした体験ツアーを実施する。
	2	7	6	7	20	・行政、農業者、商店が連携し愛郷米、ソルキーライスなど広く野洲米をPRするため、他府県の消費者協会等に呼びかけ野洲米の試食と米づくり体験ツアーを実施する。 ・農業者支援を行う。

<オ>市内全域・・・( )内はSWOT項目

抽出数・4項目 / 13項目中

選定基準：①実現可能性 ②有効性 ③期待効果

具体的に行う事業	選 択	点数評価①②③				だれが・どのようにして解決すればいいか
		①	②	③	計	
(1)「ものづくり経営交流センターを活用し経営改善をする (S1、O5・7)	2	8	8	8	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すでにスタートしていて、成果は実りつつある。</li> <li>・行政・商工団体が連携して、総括制度で、活用を図る。</li> </ul>
	3	13	12	14	39	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、企業、商店が連携し行政が経営改善インストラクター養成講座を開催しインストラクターを養成する。</li> <li>・企業商店等が気軽に相談しやすいシステムを構築し「お助け、かけこみ寺」メニューを実施する。</li> </ul>
(2)伝統工芸や工場を見学できるツアーを実施し、その魅力をクチコミやブログ等で情報発信してもらおう(S2、O5・8)	4	9	11	11	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政・市民団体・商工業界・観光物産協会で、伝統工芸や工場見学を、観光としてPRする。</li> <li>・行政・商工業・商店等が連携し、地元活性化やPRの効果を高める。</li> </ul>
	3	13	13	12	38	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人のプチたびのバージョンアップ。</li> <li>・工業者、商業者、商工会、行政が連携し、ツアーを実施する。</li> <li>・商工会・行政・観光物産協会とが連携し、「滋賀・野洲で大人のプチたび」を継続する。</li> </ul>
(3)商工業者の製品や商品を紹介するため、ホームページを作成し市民へお店の魅力やイベント情報を提供する(W7、O2)	1	5	4	4	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工団体・行政が連携して、市民・商工者の協力で推進する。</li> </ul>
	1	5	3	2	10	
(4)市民、学生、商工業者等から経済活動につながるイベントを募集し、実施・評価することで、野洲を盛り上げようという意識を養う (W1・3・4・7、O8)  ====>(10)を含めて検討する。	7	18	20	22	60	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人のふるさと意識が育つような環境づくり・工夫が必要。</li> <li>・行政・商工業者・商工会・工業会・一般市民等が連携し、地元活性化やPRの効果を高める。</li> <li>・やりたい人々、何でも出来ると信じる人達が活動すべき。無理・ダメから始まるメンバーで議論しても、何も始まらない。</li> <li>・イベントは連続、関連付けがわからないと商工業者のためへの効果はない。</li> </ul>
	2	7	5	6	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、商工業者、行政の組織づくりからスタート。</li> </ul>
(5)将来の人材育成のために中学生に高い体験を経験してもらい、「野洲で働きたい。貢献したい。」という意欲を高めてもらう (W1・2・3・4・7、O8)	2	3	4	4	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工業会・商工会の協力を得て、工場見学・ものづくり見学・体験学習を実施する。</li> <li>・行政・商工業・商店等が連携し、地元活性化やPRの効果を高める。</li> </ul>
	2	6	7	7	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、学校、企業が連携し、学校で「工場・商店一日就労体験実習」を設けて、生徒に会社の実地体験と就労意欲を培う。</li> <li>・学校、商工業者を行政、商工会でマッチング。</li> </ul>
(6)市内で収穫される「安心・安全」の農水産物を利用してメニューを作り飲食店で提供してもらおう(W1・5・6・7・10、O1・4・5)	8	23	25	26	74	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者(農業者)・消費者・行政・商工業者(飲食業者)がメニューを作り、行政と共にPRする。</li> <li>・商工会・観光物産協会・NPO・一般市民。</li> <li>・農業・商工団体・行政が連携して、市民・専門家の協力を得、飲食店の協力を得ていく。</li> <li>・行政・商工業・商店等が連携し、地元活性化やPRの効果を高める。</li> <li>・地産地消の意識を持つ。または、持たせていく。</li> <li>・メニュー作りより供給の安定と価格とマッチングが必要であり重要。</li> <li>・行政・商工会・観光物産協会・JA・農協が協力し、「おうみんち」の様な店を野洲につくる。</li> </ul>
	2	7	8	8	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者、飲食店が連携し、商品開発を行う。行政、商工会、観光物産協会はPRを行う。</li> <li>・JAおうみ富士農協・行政・企業商店等が連携し、「おうみんち・野洲支店」を拡大する。</li> </ul>

(7)マイカーや自転車、路線バス等を活用し、広域移動で楽しめるルートをつくりPRをする(W4・5・6・8、O2・4)	2	9	8	8	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動・ボランティアの協力を得て、もてなし・感動・リピーターの実現をする。</li> <li>・商工団体・行政が連携して、マップを作成し、ガイドや関係者の協力を得て、PR やイベントを開催していく。</li> </ul>
	0					
(8)地域活性化のための人材の育成(W1、O4・5・7・8)	2	7	7	7	21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての委員会等のメンバーを見直し。高齢者ばかりでは、市の未来はない。若者にも機会を与えるべき。</li> <li>・人材育成というより仕掛け、仕組みを作る人材が必要。(商工会または行政)</li> </ul>
(9)大口の消費者である団体旅行客を増加させる体制作りをし、商工業者のビジネスチャンスを作る(W6・7・8・10、O4・5)	1	2	4	4	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政・市民団体と商工業者が、新しく野洲市の観光地を作る。</li> </ul>
(10)「野洲川花火大会」や「夏祭り」など大型イベントを開催し多くの商工業者や市民が集まれるようにし、まちを活気づける(W3・W4、O4・5・6、)  ==>(4)へ統合	3	12	11	11	34	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政・観光物産協会・一般市民・商工会商工業者・工業会。</li> <li>・賑わいの創出は大切だと思う。何も無い、つまらない街にはいけない。将来の子どもたちのためにも、困難でもやるべき。</li> </ul>
	3	12	12	12	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政、企業、商店が連携し「野洲商工フェア」を定期的に開催し、企業や商店のものづくり展示コーナー等を設け、市民との交流を深めていき、まちの活性化につなげる。</li> <li>・行政、商工会、観光物産協会が連携し、イベント開催を主導する。商工業者は積極的に参加する。</li> <li>・青年会議所・行政・商工会等が連携し、「やすっこフェスタ」、「商工フェア」等を、いっそう地域密着型イベントにしていく。</li> </ul>
(11)商業者が専門家の指導を受けながら、独自のサービスを実施し利用が増えるようにする(W2、O8)	1	4	4	3	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政・商工業者。</li> </ul>
	2	8	9	7	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会のエキスパートバンク事業を活用する。</li> </ul>
(12)市内大型店舗に働きかけ、地産地消商品等の地元商品を販売PRできるコーナーを設ける(W1・2・7、O1・3・4・5・8)	5	14	14	16	44	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政・生産者団体で、大型店に働きかけをおこなう(消費者団体も巻き込む)。</li> <li>・行政・商工業・商店・農家等が連携し、地元活性化やPRの効果を高める。</li> </ul>
	1	5	4	4	13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者、商工会、行政が連携し、店舗に働きかける。</li> </ul>
(13)他市にあり市内にないモノ(施設、店舗)と競合したりマネるのではなく、広域連携協定を結び、市内のモノにする(W1・9、T1・2・3・4)	0					
	0					

## 9-6. 野洲市の商工業振興対策や具体策

### ※前述

区 分： **新**＝新たに実施計画する事業 **既**＝既事業をもとに実施計画する事業

ジャンル： ①産業、②生活、③文化交流、④観光、⑤環境、⑥交通

主 体： ①【企業・事業所・事業者・商工業団体・観光団体】、②【市民(市民団体)】、③【行政】

ゾーン	区分	事業計画	効果的なジャンル						主 体		
			①産業	②生活	③文化	④観光	⑤環境	⑥交通	①企業	②市民	③行政
駅前周辺	<b>新</b>	①JR琵琶湖線の利便さを活用し、駅前周辺で多目的施設等を利用し、商工業者間や一般消費者等を対象にしたマッチング会を実施する。	◎			○		○	○	○	
	<b>新</b>	②商工業者の自社製品（商品）の常設展示の実施。	◎			○			○		○
三上山（近江富士） びわ湖（マイアミ浜） 周辺	<b>新</b>	③三上山（近江富士）周辺の来訪者を、びわ湖沿いに誘導したり湖岸の来訪者を三上山周辺や中山道へ誘導したりするコースの設定。	○			◎		○	○	○	
	<b>既</b>	④ビワマス等を使用した伝統食「びわ湖の漁師料理」の普及や、農商工連携で湖魚を使った商品の開発や販売を行い、「食」へのこだわりと魅力を高める。	◎	○	○	◎	○	○	○	○	○
	<b>既</b>	⑤家棟川エコ遊覧船、ビワコマイアミランド、マイアミ浜オートキャンプ場などの施設で、環境体験やマリンスポーツを体験できるようにし、にぎわいを創出する。	○		○	◎	◎		○	○	○
農産物生産 地域周辺	<b>新</b>	⑥日帰りまたは宿泊施設を利用した農業体験をしてもらい、農産物がおいしい理由を説明したり、収穫した農産物で加工品をつくり、本市の魅力を高める。	○			○	◎	○	○	○	
市内 全 域	<b>既</b>	⑦ものづくり経営交流センターや県の制度などを活用し、経営改善をする。	◎		○			○	○		○
	<b>既</b>	⑧伝統工芸や製品の製造過程が見学できるツアーを実施し、地域貢献と自社のPRをしてもらう。	◎			◎	○	○	○	○	○
	<b>新</b>	⑨テーマを設定して、市民・学生・商工業者等の民間からイベントの手法を提案してもらい、実施・評価することで「野洲」への関心を高めてもらう。	○		○	◎			○	○	○
	<b>既</b>	⑩市内で収穫された農水産物を利用してメニューを作り、飲食店で提供してもらう。	◎		○	◎		○	○		○

# 10. 参考資料 各種資料

## 1. 設置要綱

### 野洲市商工業振興指針策定委員会設置要綱

(設置)

第1条 野洲市における商工業の振興を図ることを目的とした、野洲市商工業振興指針（以下「振興指針」という。）を策定するため、野洲市商工業振興策定委員会（以下「策定委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定委員会は次の事項について調査審議し、その結果を市長に提言する。

- (1) 新しい産業動向に対応した商工業振興施策のあり方に関する事。
- (2) 効率的かつ効果的な商工業振興施策の具体化及び計画に関する事。
- (3) その他、商工業振興施策の推進に必要な事項に関する事。

(策定委員会の組織)

第3条 策定委員会の委員（以下「委員」という。）は、9名以内で次に掲げる者とする。

- (1) 学識経験者
- (2) 野洲市商工会の代表
- (3) 野洲工業会の代表
- (4) 野洲市商工会地域活性化委員会の代表
- (5) 野洲市観光物産協会の代表
- (6) 野洲市民の消費者代表
- (7) 野洲市商工会青年部の代表
- (8) 野洲市商工会女性部の代表
- (9) 野洲市環境経済部長

(委員長及び副委員長)

第4条 策定委員会の委員長及び副委員長の選任については委員の互選により委員長1人、副委員長2人を定める。

2 委員長は会務を総理し、策定委員会を代表する。

(会議等)

第5条 策定委員会の会議は、委員長が招集し、その会議を掌る。

2 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させることができる。

(作業会)

第6条 策定委員会は、振興指針の策定に係る調査、検討のため、作業会を置くものとする。

2 作業会の委員は、委員長が別に定める。

3 作業会の長は、商工観光課長とする。

4 作業会の長は、作業会の事務を掌理し、作業会において調査、検討した結果を策定委員会に報告するものとする。

(庶務)

第7条 策定委員会の庶務は、市環境経済部商工観光課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営に関する必要な事項は、会長が策定委員会に諮って定める。

付 則

この要綱は、平成22年12月1日から施行する。



## 2. 委員会・作業会 委員名簿

### 野洲市商工業振興指針策定委員会 委員名簿（平成22年度）

役職	氏名	所属・役職	備考
委員長	金井 萬造	立命館大学経済学部教授	学識経験者
委員	奥野 哲司	野洲市商工会長	野洲市商工会の代表
委員	中井 節夫	野洲工業会長	野洲工業会の代表
委員	松沢 松治	地域活性化委員会委員長	地域活性化委員会の代表
委員	小島 敏子	野洲市消費生活研究会長	野洲市民の消費者代表
委員	坂口 重良	野洲市観光物産協会長	観光物産協会の代表
委員	前田 一則	野洲市商工会青年部長	青年部の代表
委員	鈴木あつ子	野洲市商工会女性部長	女性部の代表
委員	山本 利夫	環境経済部長	野洲市

### 作業会 委員名簿

役職	氏名	所属・役職	備考
委員長	白井 芳治	環境経済部商工観光課長	野洲市
委員	東郷 真一	野洲工業会事務局長	野洲工業会の事務局
委員	中村 和夫	野洲市商工会事務局長	野洲市商工会事務局
委員	西居 利恵	地域商工資源活用コーディネーター	野洲市商工会事務局
委員	吉野 弘一	ものづくり経営交流センター長	野洲市
委員	黒川 之明	野洲市観光物産協会（商工観光課専門員）	野洲市観光物産協会の事務局
庶務	西田 茂	環境経済部商工観光課長補佐	野洲市
庶務	白井 宏子	環境経済部商工観光課専門員	野洲市
庶務	土川 友廣	環境経済部商工観光課主任	野洲市



## 野洲市商工業振興指針策定委員会 委員名簿（平成23年度）

役職	氏名	所属・役職	備考
委員長	金井 萬造	立命館大学経済学部教授	学識経験者
委員	奥野 哲司	野洲市商工会長	野洲市商工会の代表
委員	中井 節夫	野洲工業会長	野洲工業会の代表
委員	松沢 松治	地域活性化委員会委員長	地域活性化委員会の代表
委員	小島 敏子	野洲市消費生活研究会長	野洲市民の消費者代表
委員	坂口 重良	野洲市観光物産協会会長	観光物産協会の代表
委員	前田 一則	野洲市商工会青年部	青年部の代表
委員	鈴木あつ子	野洲市商工会女性部長	女性部の代表
委員	山本 利夫	環境経済部長	野洲市

## 作業会 委員名簿

役職	氏名	所属・役職	備考
委員長	小嶋祐太郎	環境経済部商工観光課長	野洲市
委員	前田 健司	野洲工業会事務局長	野洲工業会
委員	大久保 亨	野洲市商工会事務局長	野洲市商工会
委員	西居 利恵	地域商工資源活用コーディネーター	野洲市商工会
委員	苗村 尚	政策調整部企画調整課主査	野洲市
委員	土川 友廣	野洲市観光物産協会（商工観光課主査）	野洲市
庶務	黒川 之明	環境経済部商工観光課長補佐	野洲市
庶務	白井 宏子	環境経済部商工観光課専門員	野洲市
庶務	牧 利昌	環境経済部商工観光課主事	野洲市





#### 4. 委員会 議事録（概要）

##### 2010年12月3日（金） 第1回委員会 議題

- （1）委員委嘱について
- （2）委員長及び副委員長の選任
- （3）野洲市商工業振興指針策定について
- （4）策定に係るスケジュール（案）について
- （5）意見交換

##### 2011年2月25日（金） 第2回委員会 議題

- （1）策定委員別ヒアリング結果及び消費者意識調査結果について
- （2）SWOT分析（各調査に対する分析）結果について
- （3）指針内容の意見交換について
- （4）今後のスケジュール等について

##### 2011年5月30日（月） 第3回委員会 議題

- （1）SWOTによる具体的な現状分析について（報告）
- （2）意識調査の結果について（報告）
- （3）SWOTの意識調査結果による、具体的な課題分析について（検討）

##### 2011年7月29日（金） 第4回委員会 議題

- （1）報告事項  
①応用「SWOT」による現状分析等の結果について
- （2）協議事項  
野洲市商工業振興指針に対する方向性（意見交換）について  
（現状分析、課題の抽出、課題解決のための具体策、情報発信、人材育成等）
- （3）今後のスケジュールについて

##### 2011年9月30日（金） 第5回委員会 議題

- （1）商工業振興指針に係る「抽出シート」の集計結果報告（報告）
- （2）「具体的に行う事業」の絞り込みと、それに伴う「課題」の抽出
- （3）「現状分析」のキーワード化・文章化について

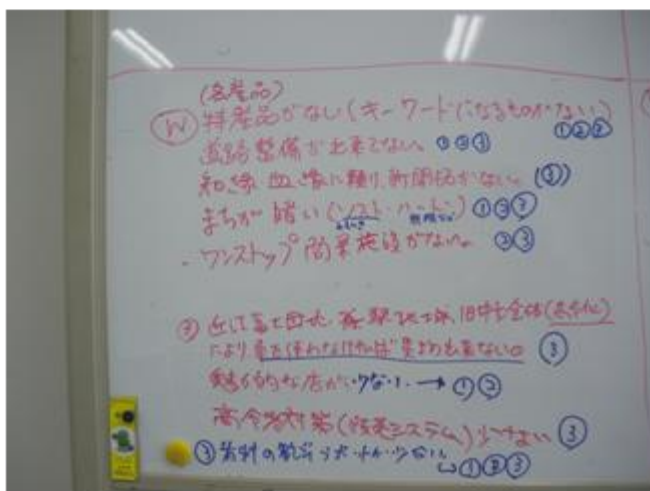
##### 2011年12月5日（月） 第6回委員会 議題

- （1）報告事項  
商工業振興指針の最終案について
- （2）協議事項  
野洲市の将来像についての意見交換

## 5. 委員会の風景（第1回～第6回）



# 作業会の風景



## 野洲市商工業振興指針

平成24年4月発行（100）

野洲市 環境経済部 商工観光課  
〒520-2395

滋賀県野洲市小篠原2100番地1

TEL : 077-587-6008（直通）

FAX : 077-587-3835（直通）

E-mail : [syoukan@city.yasu.lg.jp](mailto:syoukan@city.yasu.lg.jp)